

< 資 料 目 次 >

- 資料 1 最上地域への専門職大学の早期設置に係る要望書
- 資料 2 「オール山形農林業専門職大学応援プロジェクト会議」決議書
- 資料 3 「オール山形農林業専門職大学応援プロジェクト会議」提言書
- 資料 4 農業就業者の状況
- 資料 5 林業就業者の状況
- 資料 6 近隣大学の農学系学部及び農林業系専門職大学の志願状況
- 資料 7 東北農林専門職大学（仮称）設置に関するアンケート調査（高校生）報告書（令和5年3月）
- 資料 8 山形県立農林大学校から4年制大学への編入学実績
- 資料 9 高校卒業後の進学状況
- 資料 10 大学（学部）への入学志願者及び入学者の状況
- 資料 11 18歳人口の推移
- 資料 12 学生納付金
- 資料 13 山形県における大学進学状況
- 資料 14 東北地区の国公立大学の農学系学部の定員充足状況
- 資料 15 東北地区における農学系学部の設置状況
- 資料 16 大卒者の産業別就職者数
- 資料 17 就業者（全産業）の状況
- 資料 18 農林水産省「食料自給率等の長期データ」
- 資料 19 農林水産省「食料・農業・農村基本計画」（令和2年3月策定）（抜粋）
- 資料 20 農林水産省林野庁「令和3年度 森林・林業白書」（抜粋）
- 資料 21 農林業経営体等の状況
- 資料 22 東北農林専門職大学（仮称）設置に関するアンケート調査（事業所）報告書（令和4年10月）
- 資料 23 新規就農者の状況（山形県）

最上地域への専門職大学の早期設置に
係る要望書

平成 31 年 3 月 28 日

最上地域への専門職大学の早期設置に係る要望書

最上地域は、県内で唯一4年制大学がなく、若者の地域外への流出の大きな要因となっており、4年制大学の設置は若者定着や地域活性化を目指す当地域の長年の悲願である。また、地域の主産業である農林業の高齢化や担い手不足は大変厳しい状況にあり、魅力ある農林業経営の実践者を増やし、農林業のやりがいや楽しさや、6次産業化などビジネスとしての大きな可能性を若い世代に伝え、若者の定着を促進していく必要がある。

県においては、農林業の未来を担う高度な人材を育成するため、今般、東北初となる専門職大学設置に向けて、大学基本構想の策定に取り組んでいくこととされたところである。この専門職大学は、高い経営力・実践力により競争に打ち勝つことのできる優れた農林業経営の実践、さらには幅広い視野や発想力により農と林を起点とした新たなビジネス展開など、これからの地域産業の持続的な発展を支える人材を育成する基盤となる。これは若者に大きな夢と希望を与えるとともに、地域全体の活力・賑わいの創出にも大きく貢献するものである。

最上地域では、これまで長年に亘り、農林業経営者等が実習の受け入れや事例研究への協力など、農林大学校の運営に様々な面で密に連携してきたところである。我々は、このつながりを活かして、実習の場の提供や実務家の講師派遣など、専門職大学の運営に協力するとともに、地域活性化につながるよう最上地域一丸となって取り組んでいく所存である。

ついては、最上地域へ農林業の専門職大学を早期に設置されるよう要望する。

新庄市長	山尾 順紀
金山町長	鈴木 洋
最上町長	高橋 重美
舟形町長	森 富広
真室川町長	新田 隆治
大蔵村長	加藤 正美
鮭川村長	元木 洋介
戸沢村長	渡部 秀勝
新庄市議会議長	小野 周一
金山町議会議長	柴田 清正
最上町議会議長	菅 俊郎
舟形町議会議長	八畝 太
真室川町議会議長	五十嵐久芳
大蔵村議会議長	鈴木 君徳
鮭川村議会議長	矢口 秀資
戸沢村議会議長	早坂 文也
新庄商工会議所会頭	井上洋一郎
もがみ北部商工会会長	高橋 智之
もがみ南部商工会会長	佐藤 隆
新庄市農業協同組合経営管理委員会会長	山科 朝則
もがみ中央農業協同組合代表理事組合長	安食 賢一
金山農業協同組合代表理事組合長	柴田 義正
最上広域森林組合代表理事組合長	佐藤景一郎

金山町森林組合代表理事組合長	岸三郎兵衛
最上地域農業法人研究会会長	栗田 義夫
最上地域農業法人研究会幹事	長澤 光芳
最上地域農業法人研究会監事	熊谷 市夫
有限会社ワークム農業研究所代表取締役会長	栗田幸太郎
県立農林大学校同窓会会長	庄司 茂
県立農林大学校同窓会顧問	津藤 次雄

「オール山形農林業専門職大学応援
プロジェクト会議」決議書

令和元年 11 月 22 日

有志一同

決 議

本年2月に県内各界各層の有志が力を結集し、世界を俯瞰しつつ、農林業を通じた地域活性化に貢献できる人材の育成機関として、日本を代表する専門職大学の山形への設置に向け、「山形の、そして日本の農林業をけん引する専門職大学を山形に！」プロジェクトを設立し、知事にその実現について要請を行ったところである。

その後、県では専門職大学基本構想策定委員会を設置し、専門職大学設置に向けた検討を行い、先般、農林業専門職大学の基本構想(案)を策定し、パブリックコメントが実施されているところである。

本県の基盤産業である農林業の発展は、県全体の発展と「やまがた創生」「地方創生」に大きく寄与することが期待されるものであり、その中核的な担い手を育成する専門職大学設置の取組を、農林業関係者のみならず、市町村、さらには産業界も挙げて後押しすることで、一日も早い専門職大学の開学を目指す必要がある。

このため、農林業専門職大学の早期開学に向け、本プロジェクト会議参加者が各々の立場で、学生の実習受入をはじめとする、専門職大学への具体的な支援・協力内容の検討を行い、その成果を随時表明していくことにより、専門職大学実現への取組をオール山形で加速させていくことを確認する。

以上

「オール山形農林業専門職大学応援プロジェクト会議」

有志代表	一般社団法人山形県農業会議会長	五十嵐	直太郎
	山形県農業協同組合中央会代表理事会長	長	澤 豊
	山形県森林組合連合会代表理事会長	佐	藤 景一郎

有志名簿

山形市農業協同組合代表理事組合長	大山 敏弘
山形農業協同組合代表理事組合長	岡崎 輝明
天童市農業協同組合代表理事組合長	金平 芳己
さがえ西村山農業協同組合代表理事組合長	安孫子常哉
みちのく村山農業協同組合代表理事組合長	折原 敬一
東根市農業協同組合代表理事組合長	佐藤 勝藏
新庄市農業協同組合経営管理委員会会長	山科 朝則
もがみ中央農業協同組合代表理事組合長	安食 賢一
金山農業協同組合代表理事組合長	柴田 義正
山形おきたま農業協同組合代表理事組合長	木村 敏和
庄内たがわ農業協同組合代表理事組合長	黒井 徳夫
鶴岡市農業協同組合代表理事組合長	佐藤 茂一
余目町農業協同組合代表理事組合長	森屋 要二
庄内みどり農業協同組合代表理事組合長	田村 久義
酒田市袖浦農業協同組合代表理事組合長	五十嵐良弥
山形県農業法人協会会長	平田 勝越 ((有)山形川西産直センター)
山形県地域営農法人協議会会長	佐藤 勝良 ((農)ファーム吉田)
山形県認定農業者協議会会長	五十嵐一雄 ((有)鶴岡協同ファーム)
山形県指導農業士会会長	海藤 義則
やまがた元気な農業チャレンジネットワーク会長	高橋 彦太
公益社団法人山形県畜産協会会長	長澤 豊
山形牛枝肉市場流通振興協議会会長	栗田幸太郎 ((有)ワーコム農業研究所)
最上地域農業法人研究会会長	栗田 義夫 ((有)クリタ園芸)
最上地域農業法人研究会幹事	長澤 光芳 ((有)舟形マッシュルーム)
最上地域農業法人研究会幹事	高橋 真哉 ((有)鮭川えのきセンター)
最上地域農業法人研究会監事	熊谷 市夫 ((有)熊谷園芸)

最上地域農業法人研究会会員	阿部 高雄 ((農) オークファーム)
最上地域農業法人研究会会員	五十嵐忠一 ((農) (株) アイオイ)
山形県立農林大学校同窓会会長	庄司 茂
山形県立農林大学校同窓会顧問	津藤 次雄
公益財団法人やまがた農業支援センター理事長	若松 正俊
山形県森林協会会長理事	細野 武司
山形県木材産業協同組合理事長	松田 賢
山形県森林ノ整備事業協同組合理事長	高橋 菊男
やまがた県産木材利用センター理事長	安部 政昭
山形地方森林組合代表理事組合長	笹原 信一
天童市森林組合代表理事組合長	工藤 惣治
西村山地方森林組合代表理事組合長	荒木 俊男
北村山森林組合代表理事組合長	高橋 進一
東根市森林組合代表理事組合長	鹿野内正行
最上広域森林組合代表理事組合長	佐藤景一郎
金山町森林組合代表理事組合長	岸三郎兵衛
米沢地方森林組合代表理事組合長	名取 正治
西置賜ふるさと森林組合代表理事組合長	小関 勝助
小国町森林組合代表理事組合長	河内 昭佐
出羽庄内森林組合代表理事組合長	山本 益生
温海町森林組合代表理事組合長	本間 文夫
北庄内森林組合代表理事組合長	高橋 治雄
山形県食品産業協議会会長	近 清剛
山形県農業機械工業協同組合理事長	山本 丈実
山形県青果市場協会会長	佐藤 修一
山形県酒造組合会長	仲野 益美
山形県ワイン酒造組合理事長	大沼 寿洋
山形県商工会議所連合会会長	後藤 完司

新庄商工会議所会頭	柿崎 力治朗
山形県商工会連合会会長	小野木 覺
一般社団法人山形県銀行協会会長	長谷川吉茂
公益社団法人山形県観光物産協会会長	平井 康博
一般社団法人山形県国際経済振興機構会長	安房 毅
一般社団法人山形県建設業協会会長	澁谷 忠昌
山形県漁業協同組合代表理事組合長	本間 昭志
山形県内水面漁業協同組合連合会代表理事会長	島軒 治夫
公益財団法人山形県水産振興協会理事長	佐藤 正明
山形県土地改良事業団体連合会会長理事	佐貝 全健
山形県市長会会長	土田 正剛
山形県町村会会長	原田 真樹
新庄市長	山尾 順紀
金山町長	鈴木 洋
最上町長	高橋 重美
舟形町長	森 富広
真室川町長	新田 隆治
大蔵村長	加藤 正美
鮭川村長	元木 洋介
戸沢村長	渡部 秀勝

「オール山形農林業専門職大学応援
プロジェクト会議」提言書

令和2年11月24日

有志一同

オール山形農林業専門職大学応援プロジェクト会議 提言

昨年11月に県内各界各層の有志が力を結集し、農林業専門職大学の早期開学を後押しするために本会議を設立し、参加者が各々の立場で具体的な支援・協力内容を検討していくことにより、専門職大学実現への取組をオール山形で加速させていくことを確認し、知事に対して表明したところである。

その後、県においては、昨年12月に基本構想を策定、設置場所を新庄市とし、県立大学として令和5年4月開学を目指すことを決定した。さらに、今年9月には基本計画中間報告を策定、知事が大学の名称を「東北農林専門職大学（仮称）」とすることを表明するなど、専門職大学の開学に向けた取組が着実に進められている。

「東北農林専門職大学（仮称）」の設置は、本県の基盤産業である農林業の発展のみならず、本県全体の発展に大きく寄与するものであり、本会議として、引き続き強力に応援していく考えである。

このため、「東北農林専門職大学（仮称）」が、県内のみならず全国から学生が集まる魅力あるものとなり、最上地域のみならず本県全域の発展と活性化に貢献する大学となるよう、大学が実施する臨地実務実習をはじめとする教育プログラムに積極的に協力し、次代を担う農林業経営者の育成に貢献することを改めて確認するとともに、次のことを県に提言する。

- 1 専門職大学卒業生の県内への定着を確実にするため、我々は専門職大学及び附属農林大学校の卒業生に対する「就農応援宣言・積極採用宣言」を行うことを考える。このため、こうした宣言を積極的に行える枠組みを整備することを提案する。
- 2 我々は、専門職大学の設置及び運営について、各々の立場において力強く支援していきたいと考えている。このため、専門職大学及び附属農林大学校の運営面の充実等に資する民間からの熱意を受け入れる仕組みを整備することを提案する。

以上

「オール山形農林業専門職大学応援プロジェクト会議」

有志代表	一般社団法人山形県農業会議会長	五十嵐 直太郎
	山形県農業協同組合中央会代表理事会長	長 澤 豊
	山形県森林組合連合会代表理事会長	佐 藤 景一郎

有志名簿

山形市農業協同組合代表理事組合長	大山 敏弘
山形農業協同組合代表理事組合長	岡崎 輝明
天童市農業協同組合代表理事組合長	金平 芳己
さがえ西村山農業協同組合代表理事組合長	安孫子常哉
みちのく村山農業協同組合代表理事組合長	折原 敬一
東根市農業協同組合代表理事組合長	佐藤 勝藏
新庄市農業協同組合経営管理委員会会長	山科 朝則
もがみ中央農業協同組合代表理事組合長	安食 賢一
金山農業協同組合代表理事組合長	岸 新也
山形おきたま農業協同組合代表理事組合長	木村 敏和
庄内たがわ農業協同組合代表理事組合長	太田 政士
鶴岡市農業協同組合代表理事組合長	佐藤 茂一
余目町農業協同組合代表理事組合長	森屋 要二
庄内みどり農業協同組合代表理事組合長	田村 久義
酒田市袖浦農業協同組合代表理事組合長	五十嵐良弥
山形県農業法人協会会長	平田 勝越 ((有)山形川西産直センター)
山形県地域営農法人協議会会長	佐藤 政和 ((農)ドリームファクトリー)
山形県認定農業者協議会会長	五十嵐一雄 ((有)鶴岡協同ファーム)
山形県指導農業士会会長	海藤 義則
やまがた元気な農業チャレンジネットワーク会長	柴田 清志
公益社団法人山形県畜産協会会長	長澤 豊
山形牛枝肉市場流通振興協議会会長	栗田幸太郎((有)ワーコム農業研究所)
最上地域農業法人研究会会長	栗田 義夫 ((有)クリタ園芸)
最上地域農業法人研究会幹事	長澤 光芳((有)舟形マッシュルーム)
最上地域農業法人研究会幹事	高橋 真哉 ((有)鮭川えのきセンター)
最上地域農業法人研究会監事	熊谷 市夫 ((有)熊谷園芸)

最上地域農業法人研究会会員	阿部 高雄 ((農) オークファーム)
最上地域農業法人研究会会員	五十嵐忠一 ((農) (株) アイオイ)
山形県立農林大学校同窓会会長	庄司 茂
山形県立農林大学校同窓会顧問	津藤 次雄
公益財団法人やまがた農業支援センター理事長	若松 正俊
山形県森林協会会長理事	今井 敏
山形県木材産業協同組合理事長	松田 賢
山形県森林ノ整備事業協同組合理事長	高橋 菊男
やまがた県産木材利用センター理事長	安部 政昭
山形地方森林組合代表理事組合長	笹原 信一
天童市森林組合代表理事組合長	工藤 惣治
西村山地方森林組合代表理事組合長	荒木 俊男
北村山森林組合代表理事組合長	高橋 進一
東根市森林組合代表理事組合長	鹿野内正行
最上広域森林組合代表理事組合長	佐藤景一郎
金山町森林組合代表理事組合長	岸三郎兵衛
米沢地方森林組合代表理事組合長	名取 正治
西置賜ふるさと森林組合代表理事組合長	小関 勝助
小国町森林組合代表理事組合長	河内 昭佐
出羽庄内森林組合代表理事組合長	山本 益生
温海町森林組合代表理事組合長	本間 文夫
北庄内森林組合代表理事組合長	高橋 治雄
山形県食品産業協議会会長	近 清剛
山形県農業機械工業協同組合理事長	山本 丈実
山形県青果市場協会会長	二ノ戸長作
山形県酒造組合会長	仲野 益美
山形県ワイン酒造組合理事長	大沼 寿洋

山形県商工会議所連合会会長	矢野 秀弥
新庄商工会議所会頭	柿崎力治朗
山形県商工会連合会会長	小野木 覺
山形県中小企業団体中央会会長	安房 毅
一般社団法人山形県銀行協会会長	長谷川吉茂
公益社団法人山形県観光物産協会会長	平井 康博
一般社団法人山形県国際経済振興機構会長	安房 毅
一般社団法人山形県建設業協会会長	澁谷 忠昌
山形県漁業協同組合代表理事組合長	本間 昭志
山形県内水面漁業協同組合連合会代表理事会長	島軒 治夫
公益財団法人山形県水産振興協会理事長	佐藤 正明
山形県土地改良事業団体連合会会長理事	佐貝 全健
一般社団法人山形県土地改良建設協会会長理事	伊藤 孝
山形県市長会会長	土田 正剛
山形県町村会会長	原田 眞樹
新庄市長	山尾 順紀
金山町長	佐藤 英司
最上町長	高橋 重美
舟形町長	森 富広
真室川町長	新田 隆治
大蔵村長	加藤 正美
鮭川村長	元木 洋介
戸沢村長	渡部 秀勝

農業就業者の状況(全国)

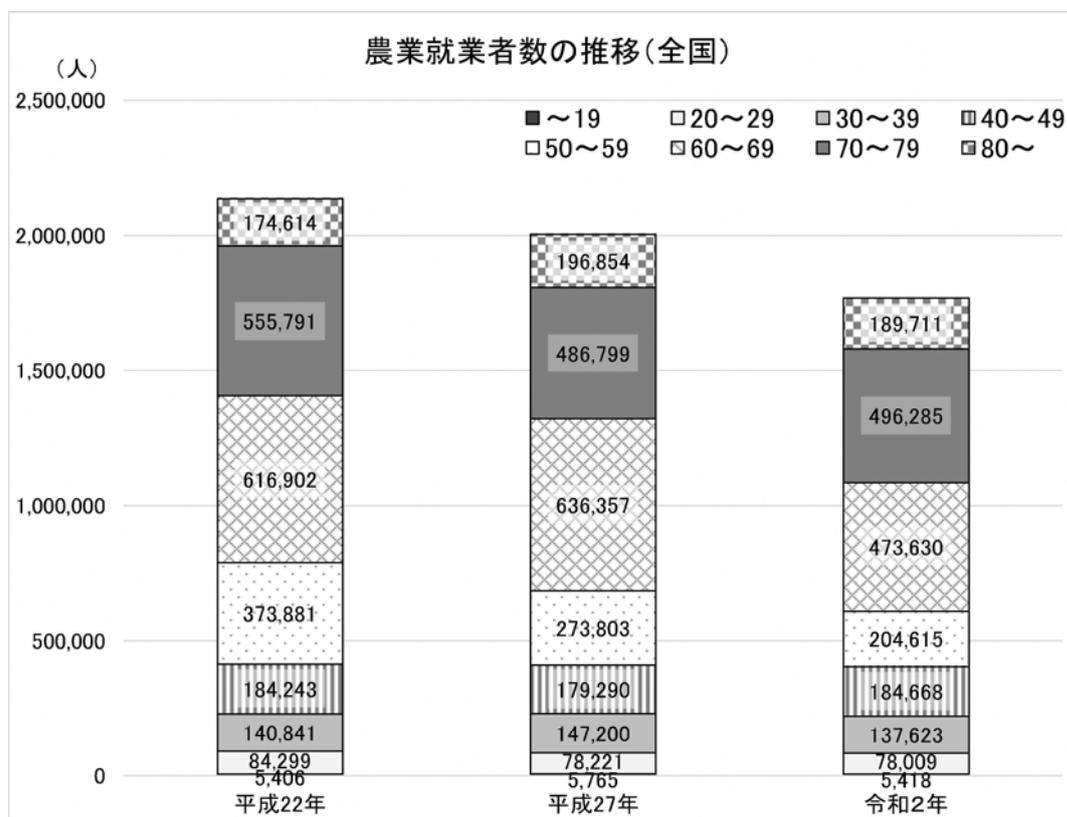
農業就業者数(全国)

(単位:人)

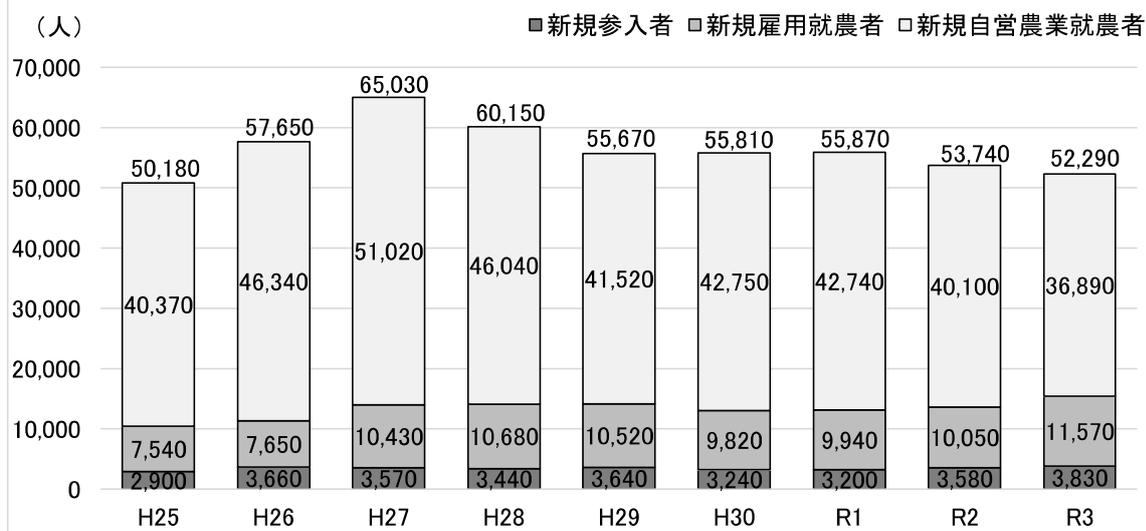
年齢	平成22年		平成27年		令和2年		増減率 R2/H22
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	
～19	5,406	(0.3%)	5,765	(0.3%)	5,418	(0.3%)	0.2%
20～29	84,299	(3.9%)	78,221	(3.9%)	78,009	(4.4%)	-7.5%
30～39	140,841	(6.6%)	147,200	(7.3%)	137,623	(7.8%)	-2.3%
40～49	184,243	(8.6%)	179,290	(8.9%)	184,668	(10.4%)	0.2%
50～59	373,881	(17.5%)	273,803	(13.7%)	204,615	(11.6%)	-45.3%
60～69	616,902	(28.9%)	636,357	(31.7%)	473,630	(26.8%)	-23.2%
70～79	555,791	(26.0%)	486,799	(24.3%)	496,285	(28.0%)	-10.7%
80～	174,614	(8.2%)	196,854	(9.8%)	189,711	(10.7%)	8.6%
合計	2,135,977	(100.0%)	2,004,289	(100.0%)	1,769,959	(100.0%)	-17.1%
(再掲)65～	1,038,268	(48.6%)	1,053,355	(52.6%)	978,204	(55.3%)	-5.8%

出典:総務省「国勢調査」

農業就業者数(H22→R2)
▲336,018人



就農形態別新規就農者の推移(全国)



①新規自営農業就農者

家族経営体の世帯員で、「学生」又は「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者

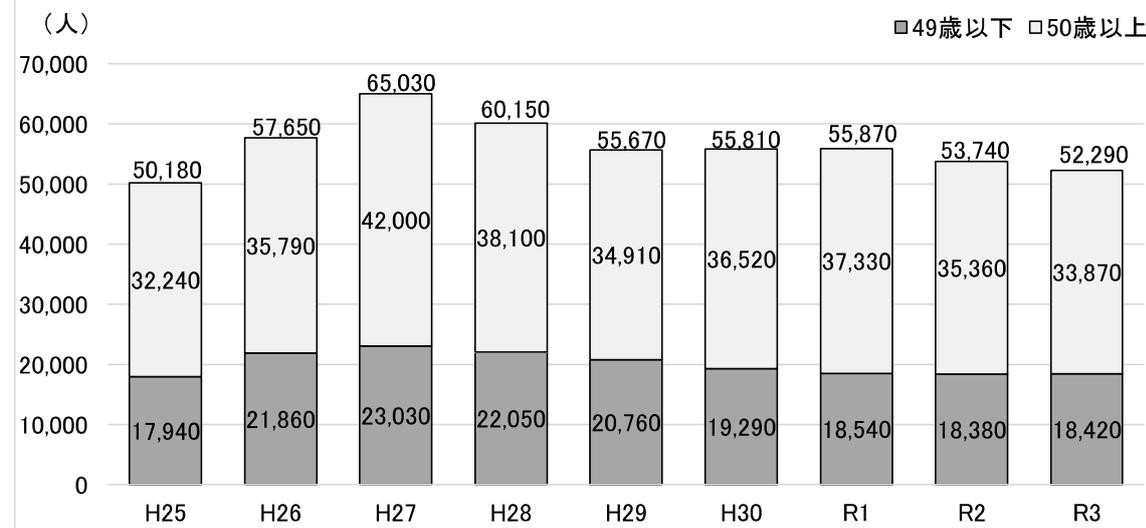
②新規雇用就農者

新たに法人等に常雇い（年間7か月以上）として雇用されることにより、農業に従事することとなった者（外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。）

③新規参入就農者

土地や資金を独自に調達（相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。）し、新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者（夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者）

年齢別新規就農者の推移(全国)



出典：農林水産省「新規就農者調査」

農業就業者の状況(山形県)

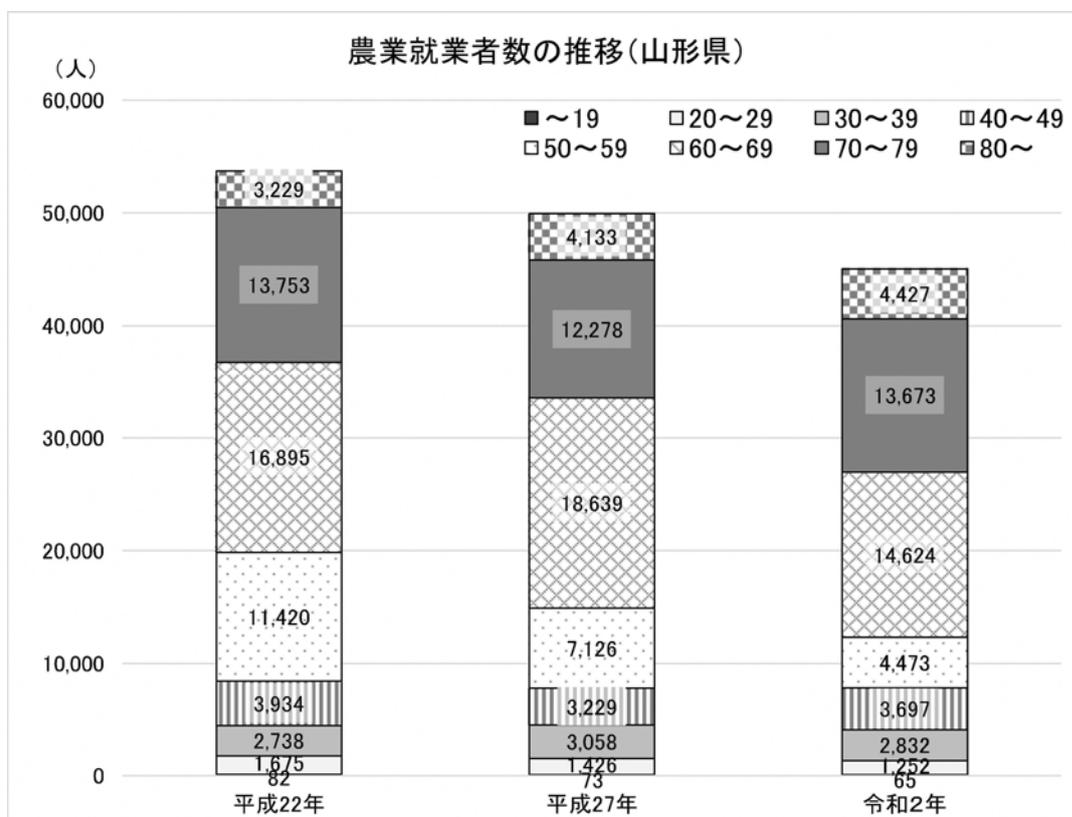
農業就業者数(山形県)

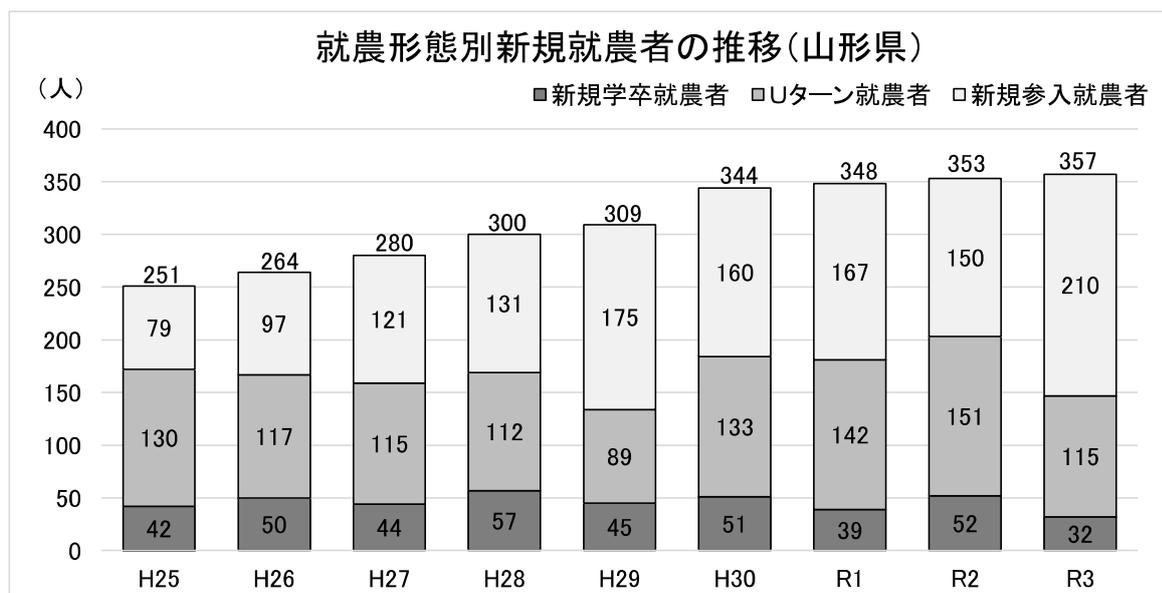
(単位:人)

年齢	平成22年		平成27年		令和2年		増減率 R2/H22
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	
～19	82	(0.2%)	73	(0.1%)	65	(0.1%)	-20.7%
20～29	1,675	(3.1%)	1,426	(2.9%)	1,252	(2.8%)	-25.3%
30～39	2,738	(5.1%)	3,058	(6.1%)	2,832	(6.3%)	3.4%
40～49	3,934	(7.3%)	3,229	(6.5%)	3,697	(8.2%)	-6.0%
50～59	11,420	(21.3%)	7,126	(14.3%)	4,473	(9.9%)	-60.8%
60～69	16,895	(31.4%)	18,639	(37.3%)	14,624	(32.5%)	-13.4%
70～79	13,753	(25.6%)	12,278	(24.6%)	13,673	(30.4%)	-0.6%
80～	3,229	(6.0%)	4,133	(8.3%)	4,427	(9.8%)	37.1%
合計	53,726	(100.0%)	49,962	(100.0%)	45,043	(100.0%)	-16.2%
(再掲)65～	24,712	(46.0%)	26,619	(53.3%)	27,346	(60.7%)	10.7%

出典:総務省「国勢調査」

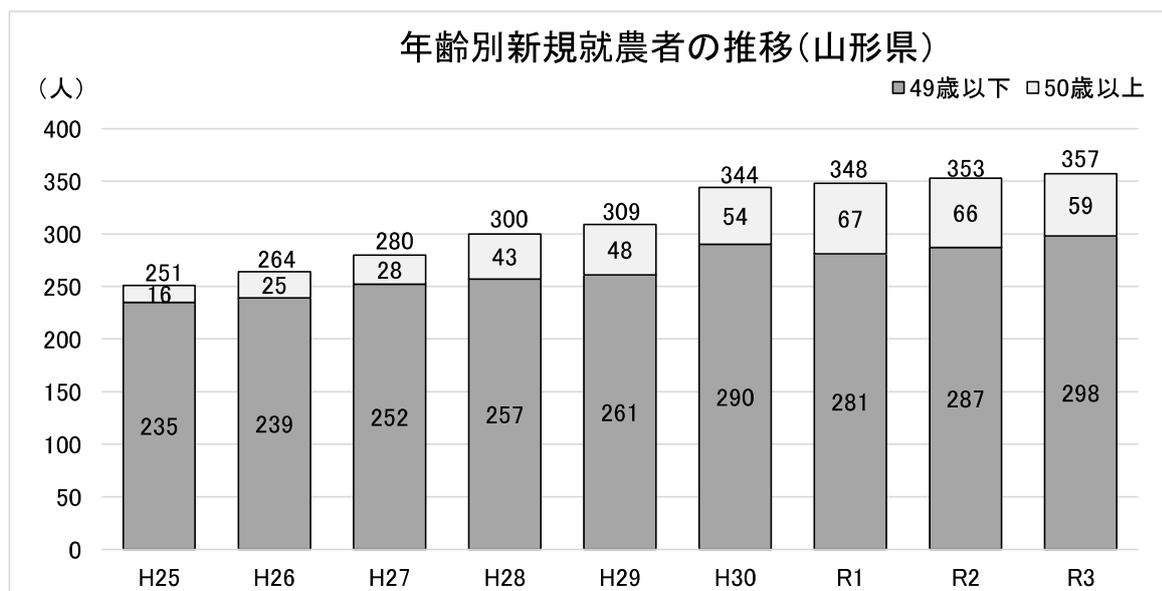
農業就業者数(H22→R2)
▲8,683人





各年5月末までの1年間の新規就農者で65歳未満の者

- ①新規学卒就農者…学校卒業後に就農、及び卒業後一定期間の農業研修を経て就農した者
- ②Uターン就農者…農家出身者で、他産業に従事した後に就農した者
- ③新規参入就農者…農業経営の基盤を持たない非農家出身者で、新たに就農した者



出典：山形県農業経営・所得向上推進課

林業就業者の状況(全国)

林業就業者数(全国)

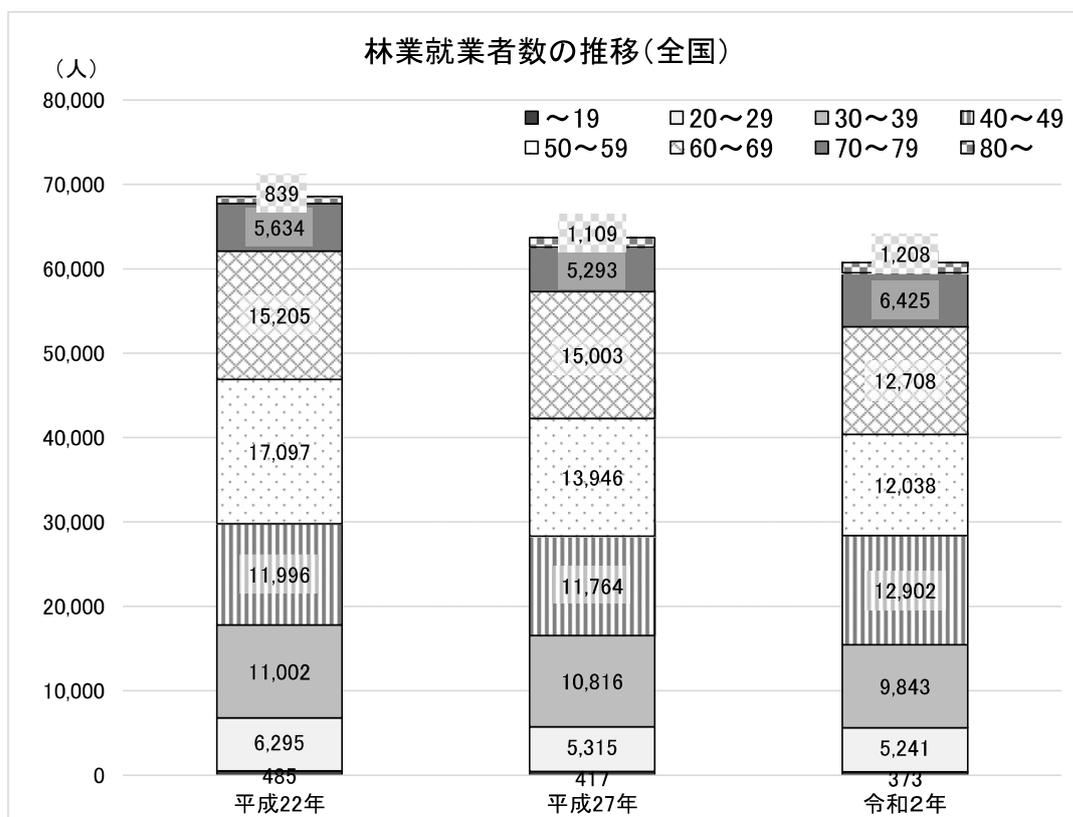
(単位:人)

年齢	平成22年		平成27年		令和2年		増減率 R2/H22
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	
～19	485	(0.7%)	417	(0.7%)	373	(0.6%)	-23.1%
20～29	6,295	(9.2%)	5,315	(8.3%)	5,241	(8.6%)	-16.7%
30～39	11,002	(16.0%)	10,816	(17.0%)	9,843	(16.2%)	-10.5%
40～49	11,996	(17.5%)	11,764	(18.5%)	12,902	(21.2%)	7.6%
50～59	17,097	(24.9%)	13,946	(21.9%)	12,038	(19.8%)	-29.6%
60～69	15,205	(22.2%)	15,003	(23.6%)	12,708	(20.9%)	-16.4%
70～79	5,634	(8.2%)	5,293	(8.3%)	6,425	(10.6%)	14.0%
80～	839	(1.2%)	1,109	(1.7%)	1,208	(2.0%)	44.0%
合計	68,553	(100.0%)	63,663	(100.0%)	60,738	(100.0%)	-11.4%
(再掲)65～	12,024	(17.5%)	13,168	(20.7%)	13,626	(22.4%)	13.3%

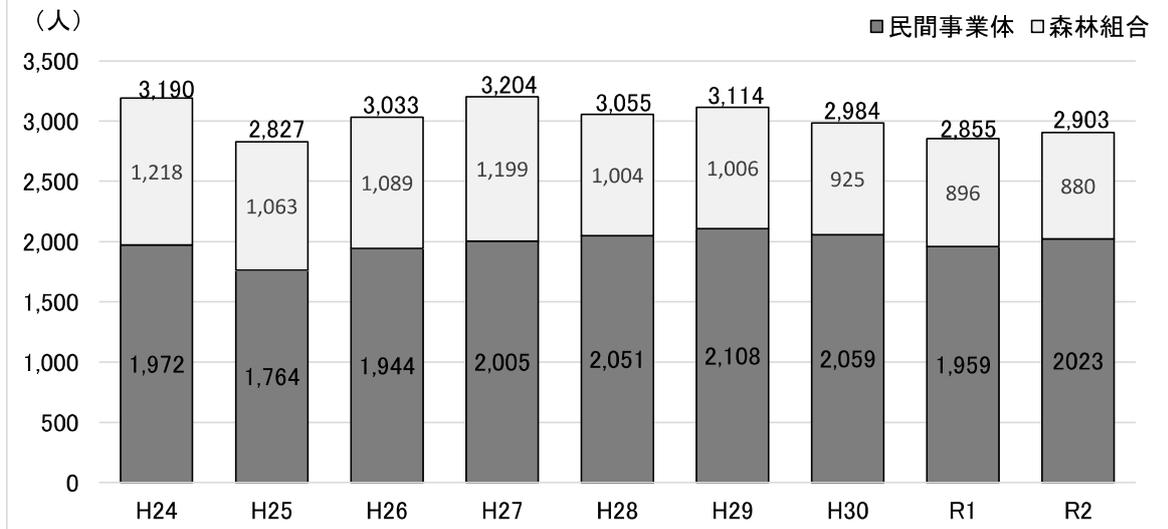
出典:総務省「国勢調査」

林業就業者数(H22→R2)

▲7,815人



就業先別林業新規就業者の推移(全国)



出典：農林水産省林野庁業務資料

林業就業者の状況(山形県)

林業就業者数(山形県)

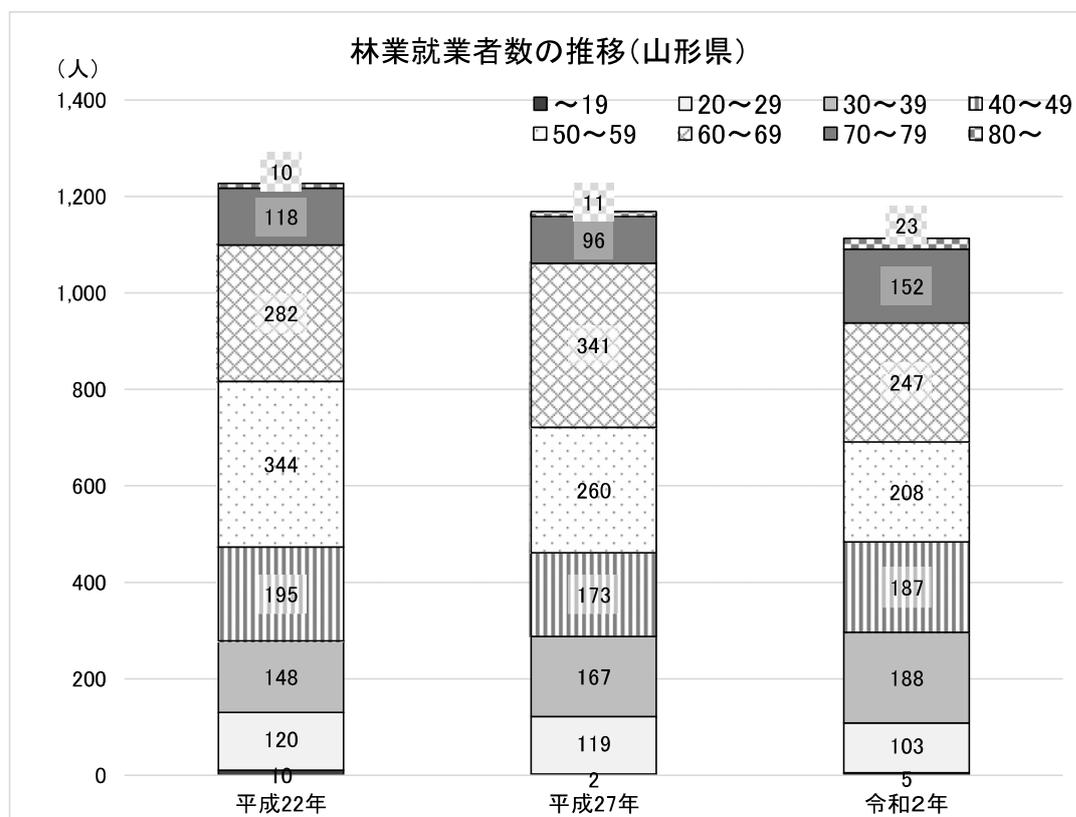
(単位:人)

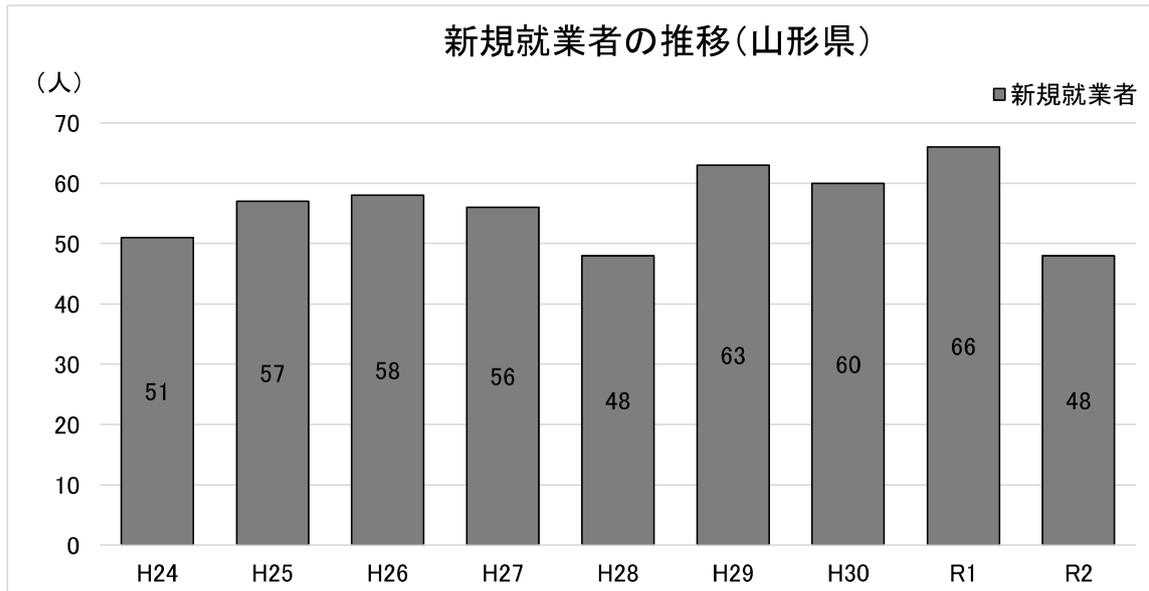
年齢	平成22年		平成27年		令和2年		増減率 R2/H22
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	
～19	10	(0.8%)	2	(0.2%)	5	(0.4%)	-50.0%
20～29	120	(9.8%)	119	(10.2%)	103	(9.3%)	-14.2%
30～39	148	(12.1%)	167	(14.3%)	188	(16.9%)	27.0%
40～49	195	(15.9%)	173	(14.8%)	187	(16.8%)	-4.1%
50～59	344	(28.0%)	260	(22.2%)	208	(18.7%)	-39.5%
60～69	282	(23.0%)	341	(29.2%)	247	(22.2%)	-12.4%
70～79	118	(9.6%)	96	(8.2%)	152	(13.7%)	28.8%
80～	10	(0.8%)	11	(0.9%)	23	(2.1%)	130.0%
合計	1,227	(100.0%)	1,169	(100.0%)	1,113	(100.0%)	-9.3%
(再掲)65～	236	(19.2%)	258	(22.1%)	309	(27.8%)	30.9%

出典:総務省「国勢調査」

林業就業者数(H22→R2)

▲114人





出典：山形県森林ノミクス推進課

近隣大学の農学系学部及び農林業系専門職大学の志願状況

大学名	学部名	学科名	入学年度	日程等	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	
岩手大学	農学部	植物生命科学科	H29	前期	29	47	1.6	45	1.6	32	32	
				後期	6	29	4.8	17	2.8	6	6	
				推薦	5	11	2.2	11	2.2	5	5	
				私費	若干名	1	-	1	-	1	0	
			H30	前期	30	48	1.6	45	1.5	33	32	
				後期	5	16	3.2	5	1.0	4	4	
				推薦	5	4	0.8	4	0.8	4	4	
				私費	若干名	4	-	3	-	1	1	
			R1	前期	30	48	1.6	45	1.5	35	34	
				後期	5	11	2.2	1	0.2	1	1	
				推薦	5	10	2.0	10	2.0	5	5	
				私費	若干名	1	-	1	-	0	0	
			R2	前期	30	31	1.0	30	1.0	30	26	
				後期	5	32	6.4	8	1.6	8	7	
				推薦	5	7	1.4	7	1.4	5	5	
				私費	若干名	2	-	2	-	2	2	
			R3	前期	28	33	1.2	30	1.1	31	26	
				後期	4	19	4.8	10	2.5	6	5	
				推薦	4	14	3.5	14	3.5	6	6	
				総合Ⅱ	4	5	1.3	5	1.3	4	4	
				私費	若干名	0	-	0	-	0	0	
			R4	前期	28	55	2.0	52	1.9	34	30	
				後期	4	24	6.0	15	3.8	4	3	
				推薦	4	11	2.8	11	2.8	7	7	
				総合Ⅱ	4	4	1.0	4	1.0	2	2	
				私費	若干名	1	-	1	-	1	1	
			森林科学科	H29	前期	20	46	2.3	46	2.3	22	21
					後期	6	35	5.8	16	2.7	6	6
		推薦			4	12	3.0	12	3.0	5	5	
		私費			若干名	1	-	1	-	1	1	
		H30		前期	20	34	1.7	34	1.7	22	21	
				後期	5	38	7.6	16	3.2	5	3	
				推薦	5	12	2.4	12	2.4	5	5	
				私費	若干名	1	-	1	-	0	0	
		R1		前期	20	41	2.1	40	2.0	23	18	
				後期	5	27	5.4	11	2.2	9	8	
				推薦	5	10	2.0	10	2.0	5	5	
				私費	若干名	0	-	0	-	0	0	
		R2		前期	20	45	2.3	44	2.2	23	23	
				後期	5	46	9.2	16	3.2	5	5	
				推薦	5	13	2.6	13	2.6	5	5	
				私費	若干名	0	-	0	-	0	0	
		R3		前期	18	28	1.6	25	1.4	20	19	
				後期	4	21	5.3	1	0.3	1	1	
推薦	5			13	2.6	13	2.6	6	6			
総合Ⅱ	3			7	2.3	7	2.3	3	3			
私費	若干名			0	-	0	-	0	0			
R4	前期	18		40	2.2	37	2.1	25	25			
	後期	4		30	7.5	14	3.5	4	3			
	推薦	5		10	2.0	10	2.0	5	5			
	総合Ⅱ	3		3	1.0	3	1.0	2	2			
	私費	若干名		0	-	0	-	0	0			
H29	食料生産環境学科 農村地域デザイン学コース 食産業システム学コース	前期		27	50	1.9	50	1.9	31	31		
		後期		7	47	6.7	22	3.1	8	8		
		推薦	6	4	0.7	4	0.7	4	4			
		私費	若干名	1	-	1	-	0	0			

大学名	学部名	学科名	入学年度	日程等	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	
			H30	前期	27	36	1.3	35	1.3	29	29	
				後期	7	19	2.7	7	1.0	6	5	
				推薦	6	13	2.2	13	2.2	6	6	
				私費	若干名	1	-	1	-	1	1	
			R1	前期	27	32	1.2	32	1.2	32	32	
				後期	7	17	2.4	3	0.4	4	4	
				推薦	6	7	1.2	7	1.2	6	6	
				私費	若干名	1	-	1	-	0	0	
			R2	前期	29	43	1.5	42	1.4	33	31	
				後期	5	29	5.8	10	2.0	6	4	
				推薦	6	7	1.2	7	1.2	6	6	
				私費	若干名	1	-	1	-	0	0	
			R3	前期	26	39	1.5	36	1.4	33	32	
				後期	4	13	3.3	5	1.3	4	3	
				推薦	6	9	1.5	9	1.5	6	6	
				総合Ⅱ	4	1	0.3	1	0.3	1	1	
			R4	前期	26	48	1.8	43	1.7	30	28	
				後期	4	21	5.3	10	2.5	4	4	
				推薦	6	11	1.8	11	1.8	7	7	
				総合Ⅱ	4	5	1.3	5	1.3	4	4	
				私費	若干名	0	-	0	-	0	0	
				H29	前期	20	117	5.9	103	5.2	27	20
					後期	8	142	17.8	44	5.5	14	8
					推薦	12	29	2.4	29	2.4	12	12
			H30	前期	20	89	4.5	73	3.7	29	22	
				後期	8	168	21.0	49	6.1	11	6	
				推薦	12	19	1.6	19	1.6	12	12	
			R1	前期	20	70	3.5	59	3.0	27	21	
後期	8	115		14.4	32	4.0	11	7				
推薦	12	25		2.1	25	2.1	15	15				
R2	前期	20	105	5.3	93	4.7	24	18				
	後期	8	128	16.0	34	4.3	16	13				
	推薦	12	28	2.3	28	2.3	13	13				
R3	前期	20	52	2.6	46	2.3	27	22				
	後期	8	137	17.1	29	3.6	10	7				
	総合	2	6	3.0	6	3.0	2	2				
	学校推薦	10	16	1.6	16	1.6	12	12				
R4	前期	20	154	7.7	141	7.1	29	23				
	後期	8	202	25.3	53	6.6	12	7				
	総合	2	4	2.0	4	2.0	3	3				
	学校推薦	10	13	1.3	13	1.3	8	8				
H29	前期	20	95	4.8	89	4.5	28	26				
	後期	8	91	11.4	38	4.8	8	8				
	推薦	12	23	1.9	23	1.9	13	13				
H30	前期	20	103	5.2	94	4.7	26	17				
	後期	8	85	10.6	32	4.0	20	17				
	推薦	12	12	1.0	12	1.0	12	12				
R1	前期	20	53	2.7	47	2.4	27	25				
	後期	8	108	13.5	34	4.3	8	6				
	推薦	12	16	1.3	16	1.3	10	10				
R2	前期	20	120	6.0	108	5.4	25	20				
	後期	8	119	14.9	39	4.9	14	12				
	推薦	12	14	1.2	14	1.2	11	11				
R3	前期	20	43	2.2	35	1.8	26	22				
	後期	8	109	13.6	32	4.0	15	11				
	総合	2	4	2.0	4	2.0	2	2				
	学校推薦	10	7	0.7	7	0.7	7	7				
R4	前期	20	56	2.8	49	2.5	30	22				
	後期	8	102	12.8	33	4.1	14	12				
	総合	2	5	2.5	5	2.5	2	2				
	学校推薦	10	7	0.7	7	0.7	7	7				

大学名	学部名	学科名	入学年度	日程等	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数
		生物環境科学科	H29	前期	15	105	7.0	96	6.4	22	17
				後期	6	113	18.8	43	7.2	9	6
				推薦	9	11	1.2	11	1.2	8	8
			H30	前期	15	50	3.3	45	3.0	22	19
				後期	6	88	14.7	28	4.7	9	9
				推薦	9	10	1.1	10	1.1	9	9
			R1	前期	15	56	3.7	50	3.3	23	20
				後期	6	81	13.5	26	4.3	8	7
				推薦	9	7	0.8	7	0.8	6	6
			R2	前期	15	92	6.1	80	5.3	19	16
				後期	6	99	16.5	29	4.8	7	6
				推薦	9	16	1.8	16	1.8	11	11
			R3	前期	15	47	3.1	42	2.8	19	17
				後期	6	92	15.3	24	4.0	7	4
				総合	2	7	3.5	7	3.5	3	3
				学校推薦	7	10	1.4	10	1.4	8	8
			R4	前期	15	65	4.3	60	4.0	20	19
				後期	6	86	14.3	27	4.5	6	5
				総合	2	6	3.0	6	3.0	4	4
				学校推薦	7	6	0.9	6	0.9	5	5
		アグリビジネス学科	H29	前期	16	48	3.0	46	2.9	26	19
				後期	6	60	10.0	18	3.0	12	8
				推薦	18	17	0.9	17	0.9	15	15
			H30	前期	16	37	2.3	34	2.1	22	17
				後期	6	44	7.3	16	2.7	6	6
				推薦	18	25	1.4	25	1.4	21	21
			R1	前期	16	116	7.3	110	6.9	21	17
				後期	6	83	13.8	42	7.0	8	4
				推薦	18	26	1.4	26	1.4	20	20
			R2	前期	16	73	4.6	63	3.9	23	17
				後期	6	63	10.5	17	2.8	6	6
				推薦	18	28	1.6	28	1.6	20	20
			R3	前期	16	31	1.9	27	1.7	23	14
				後期	6	29	4.8	6	1.0	12	9
				総合	2	8	4.0	8	4.0	4	4
				学校推薦	16	14	0.9	14	0.9	14	14
			R4	前期	16	57	3.6	46	2.9	21	17
				後期	6	57	9.5	22	3.7	6	5
				総合	2	6	3.0	6	3.0	5	5
				学校推薦	16	23	1.4	22	1.4	18	18
山形大学	農学部	食料生命環境学科	H29	前期	95	199	2.1	196	2.1	116	106
				後期	30	151	5.0	151	5.0	41	18
				推薦	40	84	2.1	84	2.1	40	40
				私費	若干名	13	-	13	-	6	1
			H30	前期	95	245	2.6	231	2.4	114	100
				後期	25	325	13.0	325	13.0	41	21
				AO	5	24	4.8	10	2.0	5	5
				推薦	40	64	1.6	64	1.6	42	42
				私費	若干名	26	-	26	-	8	2
			R1	前期	95	183	1.9	177	1.9	114	103
				後期	25	165	6.6	165	6.6	37	14
				AO	5	25	5.0	9	1.8	6	6
				推薦	40	68	1.7	68	1.7	42	42
				特別	若干名	25	-	25	-	9	3
			R2	前期	95	156	1.6	153	1.6	126	109
				後期	25	78	3.1	78	3.1	30	16
				AO	5	15	3.0	10	2.0	5	5
				推薦	40	63	1.6	63	1.6	40	40
				特別	若干名	22	-	22	-	6	1

大学名	学部名	学科名	入学年度	日程等	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数
			R3	前期	95	309	3.3	288	3.0	118	107
				後期	25	346	13.8	346	13.8	33	10
				総合	5	9	1.8	9	1.8	5	5
				推薦	40	49	1.2	49	1.2	43	43
				特別	若干名	19	-	19	-	5	2
			R4	前期	95	185	1.9	180	1.9	123	114
				後期	25	183	7.3	183	7.3	26	5
				総合	5	18	3.6	10	2.0	5	5
				推薦	40	79	2.0	79	2.0	41	41
				特別	若干名	11	-	11	-	6	2
東北大学	農学部		H29	前期	114	311	2.7	290	2.5	116	116
				AO	36	122	3.4	93	2.6	38	38
				特別	若干名	2	-	1	-	0	0
			H30	前期	112	329	2.9	307	2.7	114	112
				AO	38	132	3.5	104	2.7	39	39
				特別	若干名	5	-	5	-	2	1
			R1	前期	112	316	2.8	288	2.6	114	112
				AOⅡ	20	74	3.7	74	3.7	20	20
				AOⅢ	18	64	3.6	28	1.6	19	19
				特別	若干名	10	-	6	-	2	0
			R2	前期	112	273	2.4	253	2.3	115	115
				AOⅡ	20	80	4.0	80	4.0	20	20
				AOⅢ	18	64	3.6	30	1.7	19	19
				特別	若干名	3	-	3	-	2	1
			R3	前期	105	295	2.8	269	2.6	111	107
				AOⅡ	23	78	3.4	40	1.7	23	23
				AOⅢ	22	44	2.0	33	1.5	18	18
				特別	若干名	3	-	0	-	0	0
R4	前期	105	261	2.5	232	2.2	112	112			
	AOⅡ	23	58	2.5	40	1.7	23	23			
	AOⅢ	22	43	2.0	32	1.5	22	22			
	特別	若干名	4	-	3	-	2	1			
福島大学	食農学類		R1	前期	60	190	3.2	179	3.0	67	61
				後期	20	247	12.4	73	3.7	30	26
				AO	20	58	2.9	58	2.9	20	20
			R2	前期	60	99	1.7	94	1.6	68	62
				後期	20	152	7.6	22	1.1	20	16
				AO	20	50	2.5	49	2.5	20	20
			R3	前期	60	133	2.2	122	2.0	70	65
				後期	20	197	9.9	58	2.9	23	17
				AO	20	41	2.1	41	2.1	22	22
			R4	前期	60	156	2.6	146	2.4	67	62
				後期	20	207	10.4	61	3.1	26	23
				総合	20	34	1.7	34	1.7	21	21
静岡県立農林環境専門職大学	生産環境経営学部	生産環境経営学科	R2	一般	12	48	4.0	45	3.8	18	15
				推薦	12	18	1.5	18	1.5	11	11
				特別	若干名	1	-	1	-	1	1
			R3	一般	12	47	3.9	40	3.3	18	16
				推薦	12	24	2.0	24	2.0	12	12
				特別	若干名	1	-	1	-	0	0
			R4	一般	12	34	2.8	31	2.6	15	14
				推薦	12	20	1.7	20	1.7	12	12
				特別	若干名	4	-	4	-	0	0

出典:各大学HP

※合格者数には、追加合格者数を含む

※東北大学の受験者数は第2次選考受験者

東北農林専門職大学（仮称）設置に関するアンケート調査（高校生）

報 告 書

令和5年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>.....	2
<アンケート集計結果（クロス集計）の概要>	
問10 東北農林専門職大学（仮称）への進学意向×問11 進学希望学科	4
問5 「農林学関係」「経営学関係」「食物学・栄養学関係」×問4 「大学・専門職大学進学」×問8 本学を「受験したい」×問10「進学したい」	5
問5 「経済学関係」「工学関係（情報除く）」「理学関係（生物、化学、地学、物理等）」「情報学関係」×問4 「大学・専門職大学進学」×問8 本学を「受験したい」×問10「進学したい」	6
問5 「農林学関係」「経営学関係」「食物学・栄養学関係」×問4 「大学・専門職大学進学」×問8 本学を「受験先として検討したい」×問10「進学したい」×問6 進学先決定時重視項目×問9 受験理由	8
<アンケート調査集計表>.....	12
<アンケート調査票>.....	23

<アンケート調査概要>

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート実施の目的

本調査は、「東北農林専門職大学（仮称）設置に関するアンケート調査」として高校生に対して東北農林専門職大学（仮称）への進学希望等について尋ね、学生の確保の見通しを測ることを目的とする。

2. 調査対象

- ・東北6県に所在する高校に在籍する高校2年生（初回）
- ・東北6県（初回未実施校）、北海道、新潟県、長野県、栃木県、茨城県、群馬県に所在する高校に在籍する高校2年生（追加実施）

3. 調査実施

（初回）令和4年6～9月、（追加実施）令和4年12月～令和5年2月

4. 調査方法

一般財団法人日本開発構想研究所がアンケート調査票を各高等学校へ郵送し、調査票の回収及び集計を行った。

5. 回収状況

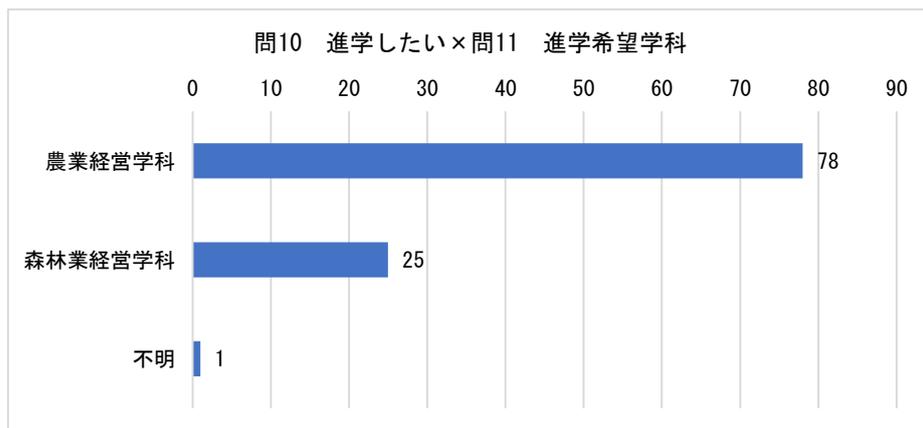
依頼数：127校 回答数：105校（回収率82.7%）10,629名（初回）

依頼数：411校 回答数：228校（回収率55.5%）19,475名（追加含む合計）

<アンケート集計結果（クロス集計）の概要>

クロス集計 問10 東北農林専門職大学（仮称）への進学意向×問11 進学希望学科

問10において東北農林専門職大学（仮称）に「進学したい」と回答した生徒（104人）のうち、問11で農業経営学科への進学を希望した回答者は78人、森林業経営学科への進学を希望した回答者は25人となっており、各学科の入学定員（農業経営学科32名、森林業経営学科8名）を超える結果となった。



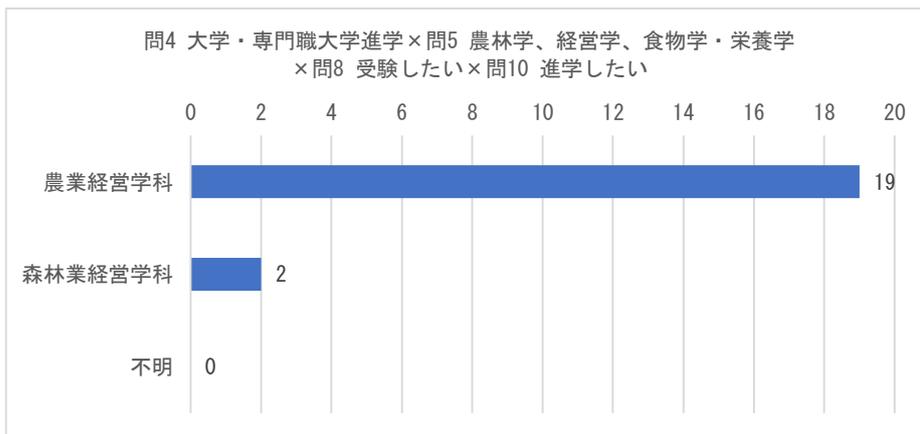
問10 進学意向×問11 進学希望学科

上段:人 下段:%		問11 進学希望学科			
		合計	農業経営 学科	森林業 経営学科	不明
問10 進学意向	全体	343 100.0	257 74.9	82 23.9	4 1.2
	進学したい	104 100.0	78 75.0	25 24.0	1 1.0
	進学先の候補として検討したい	239 100.0	179 74.9	57 23.8	3 1.3

■ クロス集計

- 問5 「1 農林学関係」「3 経営学関係」「15 食物学・栄養学関係」に関心あり
- ×問4 「1 大学・専門職大学進学」を希望
- ×問8 本学を「1 受験したい」
- ×問10 本学に「1 進学したい」

①問5で「1 農林学関係」「3 経営学関係」「15 食物学・栄養学関係」に興味があり、②問4で「1 大学・専門職大学進学」を希望し、③問8で本専門職大学を「1 受験したい」との意向を持ち、④問10で本専門職大学に合格したら「1 進学したい」者、の全ての条件に当てはまる者が何名いるかクロス集計を行ったところ、農業経営学科で19名、森林業経営学科で2名が該当した。これらの回答者の進学希望分野を勘案すると、上記回答者は本学に強い進学意向を有すると考えられる。



問4 卒業後の進路×問5 進学希望分野×問8 受験意向×問10 進学意向×問11 進学希望学科

上段:人 下段:%		問11 進学希望学科			
		合計	農業経営 学科	森林業 経営学科	不明
問4-1 大学・専門職大学進学 問5-1 農林学、3 経営学、15 食物学・栄養学 問8-1 受験したい					
問10 進学意向	全体	24 100.0	22 91.7	2 8.3	0 0.0
	進学したい	21 100.0	19 90.5	2 9.5	0 0.0
	進学先の候補として検討したい	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0

■ クロス集計

問5「6 経済学関係」「11 工学関係（情報除く）」「12 理学関係（生物、化学、地学、物理等）」「13 情報学関係」に関心あり

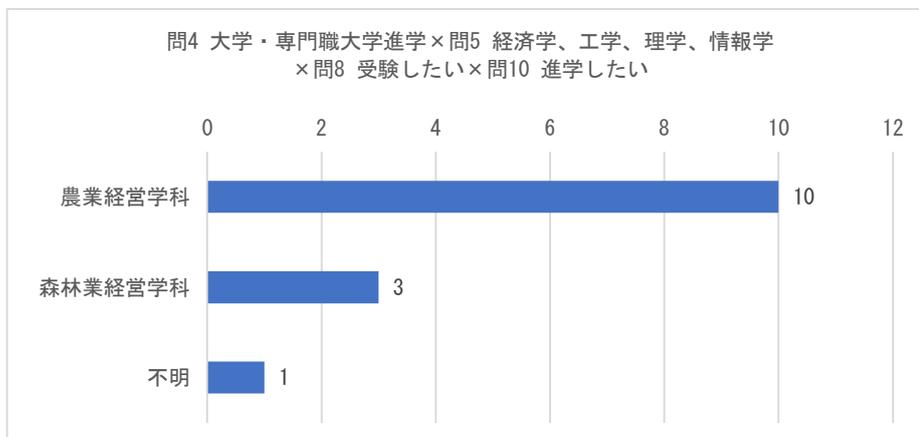
×問4「1 大学・専門職大学進学」を希望

×問8 本学を「1 受験したい」

×問10 本学に「1 進学したい」

①問5で農林業とも関係の深い「6 経済学関係」、スマート農林業で関係のある「11 工学関係（情報除く）」、農林業と関係の深い「12 理学関係（生物、化学、地学、物理等）」、森林情報学などで関係の深い「13 情報学関係」に興味があり、②問4で「1 大学・専門職大学進学」を希望し、③問8で本専門職大学を「1 受験したい」との意向を持ち、④問10で本専門職大学に合格したら「1 進学したい」者、の全ての条件に当てはまる者が何名いるかクロス集計を行ったところ、農業経営学科で10名、森林業経営学科で3名が該当した。これらの回答者の進学希望分野は本学の教育内容と関係が深いことを勘案すると、上記回答者は本学への入学を強く期待できる。

また、上記13名のうち、問5で「1 農林学関係」「3 経営学関係」「15 食物学・栄養学関係」のいずれかを選択した者を除いた10名（農業経営学科7名、森林業経営学科3名）と5頁のクロス集計結果の人数を合わせると、農業経営学科で26名、森林業経営学科で5名が入学意向を示していることとなる。



問4 卒業後の進路×問5 進学希望分野×問8 受験意向×問10 進学意向×問11 進学希望学科

上段:人 下段:% 問4-1 大学・専門職大学進学 問5-6 経済学、11 工学、12 理学、13 情報学 問8-1 受験したい		問11 進学希望学科			
		合計	農業経営 学科	森林業経 営学科	不明
問10 進学意向	全体	20 100.0	14 70.0	5 25.0	1 5.0
	進学したい	14 100.0	10 71.4	3 21.4	1 7.1
	進学先の候補として検討したい	6 100.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0

■ クロス集計

- 問5 「1 農林学関係」「3 経営学関係」「15 食物学・栄養学関係」に関心あり
- ×問4 「1 大学・専門職大学進学」を希望
- ×問8 本学を「2 受験先として検討したい」
- ×問10 本学に「1 進学したい」
- ×問6 進学先決定時重視項目
- ×問9 受験理由

①問5で「1 農林学関係」「3 経営学関係」「15 食物学・栄養学関係」に興味があり、②問4で「1 大学・専門職大学進学」を希望し、③問8で本専門職大学を「受験先として検討したい」との意向を持ち、④問10で本専門職大学に合格したら「1 進学したい」者、の全ての条件に当てはまる者のうち、

- ・進学先決定時重視項目（問6）において「9 学費（入学金・授業料）の金額」「15 国公立か私立か」のいずれかを選択し、かつ受験理由（問9）について「6 授業料が安いから」「9 公立大学だから」のいずれかを選択した者
 - ・進学先決定時重視項目（問6）において「10 学校の所在地」を選択し、かつ受験理由（問9）について「3 自宅から通学圏内にある大学だから」を選択した者
 - ・受験理由（問9）について「7 専門職大学だから」を選択した者
- は、農業経営学科で9名、森林業経営学科で4名該当した（次ページ表）。

この13名は「受験先として検討したい」と回答しているものの、本専門職大学は公立の専門職大学であり、進学先決定時重視項目（問6）及び受験理由（問9）の回答状況からすると、本専門職大学への受験意向は高いと考えられ、また、合格したら進学したいと回答していることから、本専門職大学への入学を強く期待できる。

この13名と6頁の2つのクロス集計の合計結果の人数を合わせると、農業経営学科で35名、森林業経営学科で9名が入学意向を示していることとなる。以上の調査結果からすると、本学開設にあたっては、両学科の入学定員（農業経営学科32名、森林業経営学科8名）を充足するものと推定される（10頁表）。

問4 卒業後の進路×問5 進学希望分野×問8 受験意向×問10 進学意向×問11 進学希望学科
 ×問6 進学先決定時重視事項×問9 受験理由

問4	問5	問8	問10	問6	問9	該当数
大学・ 専門職 大学進 学	「農林学関 係」 「経営学関 係」 「食物学・栄 養学関係」 のいずれかを選 択	受験先 として 検討し たい	進学し たい	「学費（入学金・授業 料）の金額」 「国公立か私立か」 のいずれかを選択	「授業料が安いから」 「公立大学だから」 のいずれかを選択	9 (うち農6、 森3) ※
				「学校の所在地」を選択	「自宅から通学圏内にある 大学だから」を選択	2 (うち農1、 森1)
				—	「専門職大学だから」を選 択	2 (うち農2、 森0)
					合計	13 (うち農9、 森4)

※「農」農業経営学科、「森」森林業経営学科

【5頁～9頁の該当数合計】

問4	問5	問8	問10	問6	問9	該当数
大学・ 専門職 大学進 学	「農林学関 係」 「経営学関 係」 「食物学・栄 養学関係」 のいずれかを 選択	受験し たい	進学し たい	—	—	21 (うち農 19、 森 2) ※1
大学・ 専門職 大学進 学	「経済学関 係」 「工学関係 (情報除 く)」 「理学関係 (生物、化 学、地学、 物理等)」 「情報学関 係」 のいずれかを 選択	受験し たい	進学し たい	—	—	10 (うち農 7、 森 3) ※2
大学・ 専門職 大学進 学	「農林学関 係」 「経営学関 係」 「食物学・栄 養学関係」 のいずれかを 選択	受験先 として 検討し たい	進学し たい	「学費(入学金・授業 料)の金額」 「国公立か私立か」 のいずれかを選択	「授業料が安いから」 「公立大学だから」 のいずれかを選択	9 (うち農 6、 森 3)
				「学校の所在地」 を選択	「自宅から通学圏内にある 大学だから」を選択	2 (うち農 1、 森 1)
				—	「専門職大学だから」を選 択	2 (うち農 2、 森 0)
					合計	44 (うち農 35、 森 9)

※1 「農」農業経営学科、「森」森林業経営学科

※2 問5で「農林学関係」「経営学関係」「食物学・栄養学関係」のいずれかを選択した者を除く。

<アンケート調査集計表>

問1 性別

あなたの性別についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

問1 性別 (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	男性	9676	49.7
2	女性	9517	48.9
3	その他	273	1.4
	不明	9	0.0
	合計	19475	100.0

問2 居住地

あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

問2 居住地 (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	山形県内（村山地域）	3520	18.1
2	山形県内（最上地域）	564	2.9
3	山形県内（置賜地域）	1264	6.5
4	山形県内（庄内地域）	1805	9.3
5	青森県	660	3.4
6	岩手県	1238	6.4
7	宮城県	1632	8.4
8	秋田県	1555	8.0
9	福島県	1110	5.7
10	その他	6113	31.4
	不明	14	0.1
	合計	19475	100.0

「その他」の主な内訳は「栃木県」1,310件、「北海道」1,247件、「新潟県」822件、「群馬県」786件、「茨城県」678件、「長野県」677件。

問3 在籍学科

あなたが在籍する高校の学科についておたずねします。次の中から在籍している学科を1つだけ選んでください。

問3 在籍学科

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	普通科・理系（理数科等を含む）	7725	39.7
2	普通科・文系	3570	18.3
3	普通科・探究コース	273	1.4
4	普通科・文理選択無し	1723	8.8
5	探究科	300	1.5
6	農業科	2604	13.4
7	林業科	144	0.7
8	工業科	1108	5.7
9	商業科	630	3.2
10	総合学科	606	3.1
11	その他	765	3.9
	不明	27	0.1
	合計	19475	100.0

【高校卒業後のことについてお聞きします】

問4 卒業後の進路

あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

問4 卒業後の進路

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	大学・専門職大学進学	12090	62.1
2	短期大学・専門職短期大学進学	753	3.9
3	専門学校進学	2849	14.6
4	就職	3523	18.1
5	その他	244	1.3
	不明	16	0.1
	合計	19475	100.0

問5 進学希望分野

あなたが進学したいと考えている分野は何ですか。次の中から関心のある分野を全て選んでください。

(問4で「大学・専門職大学進学」「短期大学・専門職短期大学進学」「専門学校進学」を選択した15,692人が回答)

問5 進学希望分野 (複数回答)

(MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	農林学関係	1143	7.3
2	文学関係 (史学・哲学含む)	1190	7.6
3	経営学関係	1446	9.2
4	国際関係 (外国語含む)	1199	7.6
5	法学・政治学関係	942	6.0
6	経済学関係	1601	10.2
7	社会学・社会福祉学関係	867	5.5
8	心理学関係	1558	9.9
9	教育学・保育学関係	2205	14.1
10	美術学・音楽学関係	1233	7.9
11	工学関係 (情報除く)	2584	16.5
12	理学関係 (生物、化学、地学、物理等)	2748	17.5
13	情報学関係	2104	13.4
14	家政学関係 (被服・住居)	300	1.9
15	食物学・栄養学関係	1409	9.0
16	医学・歯学・薬学関係	2762	17.6
17	看護・リハビリテーション学関係	3474	22.1
18	体育学・スポーツ関係	1387	8.8
19	その他	1116	7.1
	不明	66	0.4
	合計	15692	100.0

問6 進学先決定時の重視項目

あなたが進学先を決める場合に重視するものを、次の中から優先順位第3位まで選んでください。

(問4で「大学・専門職大学進学」「短期大学・専門職短期大学進学」「専門学校進学」を選択した15,692人が回答)

問6 進学先決定時の重視項目 (第1位)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	学部・学科の専攻分野	6263	39.9
2	教員の充実度	139	0.9
3	希望する資格が取れる	2805	17.9
4	就職の実績が良い	1181	7.5
5	就職支援の取組が充実している	163	1.0
6	地元地域との連携・交流が盛ん	17	0.1
7	施設が充実している	282	1.8
8	クラブ活動等が充実している	111	0.7
9	学費(入学金・授業料)の金額	831	5.3
10	学校の所在地	732	4.7
11	入試選抜方法や難易度が自分にあう	1214	7.7
12	現役大学生や卒業生等の意見	50	0.3
13	担任や進路指導教員の意見	12	0.1
14	家族(親や兄弟)の意見	104	0.7
15	国公立か私立か	1553	9.9
16	特色ある教育研究	73	0.5
17	その他	74	0.5
	不明	88	0.6
	合計	15692	100.0

問6 進学先決定時の重視項目（第2位）

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	学部・学科の専攻分野	1882	12.0
2	教員の充実度	491	3.1
3	希望する資格が取れる	2246	14.3
4	就職の実績が良い	1736	11.1
5	就職支援の取組が充実している	387	2.5
6	地元地域との連携・交流が盛ん	78	0.5
7	施設が充実している	908	5.8
8	クラブ活動等が充実している	141	0.9
9	学費（入学金・授業料）の金額	1777	11.3
10	学校の所在地	1866	11.9
11	入試選抜方法や難易度が自分にあう	1823	11.6
12	現役大学生や卒業生等の意見	186	1.2
13	担任や進路指導教員の意見	64	0.4
14	家族（親や兄弟）の意見	371	2.4
15	国公立か私立か	1462	9.3
16	特色ある教育研究	129	0.8
17	その他	40	0.3
	不明	105	0.7
	合計	15692	100.0

問6 進学先決定時の重視項目（第3位）

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	学部・学科の専攻分野	1125	7.2
2	教員の充実度	357	2.3
3	希望する資格が取れる	1324	8.4
4	就職の実績が良い	1411	9.0
5	就職支援の取組が充実している	390	2.5
6	地元地域との連携・交流が盛ん	107	0.7
7	施設が充実している	1355	8.6
8	クラブ活動等が充実している	217	1.4
9	学費（入学金・授業料）の金額	1967	12.5
10	学校の所在地	2467	15.7
11	入試選抜方法や難易度が自分にあう	1856	11.8
12	現役大学生や卒業生等の意見	304	1.9
13	担任や進路指導教員の意見	132	0.8
14	家族（親や兄弟）の意見	773	4.9
15	国公立か私立か	1468	9.4
16	特色ある教育研究	232	1.5
17	その他	62	0.4
	不明	145	0.9
	合計	15692	100.0

【東北農林専門職大学（仮称）についてお聞きします。お配りしたリーフレットをお読みになった上でお答えください。】

問7 興味・関心のある特色

東北農林専門職大学（仮称）には以下のような特色があります。あなたはどの特色に魅力を感じますか。次の中から関心のあるものを全て選んでください。

（問4で「大学・専門職大学進学」「短期大学・専門職短期大学進学」「専門学校進学」を選択した15,692人が回答）

問7 興味・関心のある特色（複数回答）

(MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	経営感覚と現場感覚に優れ、理論に裏打ちされた実践力を備えた人材の育成	4696	29.9
2	戦略的な経営に取り組める農林業人材の育成	2664	17.0
3	農林業を核とした関連産業の振興や価値の創出に資する人材の育成	2066	13.2
4	最前線の需要をつかみ、新たな市場を開拓することができる人材の育成	2550	16.3
5	高度で先進的な生産技術を修得した人材の育成	2476	15.8
6	山形県をはじめ東北6県の多様な農業又は森林業産地での実習	3559	22.7
7	海外の先進的な取組等を学ぶ海外実習	4051	25.8
8	新たな事業展開へつなげていくための他分野の知識を修得することができる	1884	12.0
9	フィールドワークなどを通じて地域課題の解決方策を学ぶことができる	2255	14.4
10	農林業に必要な資格が取得できる	3414	21.8
11	少人数教育による学生一人ひとりが持つ能力を最大限に引き出す教育	3677	23.4
12	キャリアサポートセンターによる充実したキャリア形成支援	1242	7.9
13	その他	200	1.3
	不明	568	3.6
	合計	15692	100.0

問8 東北農林専門職大学（仮称）の受験意向

あなたは東北農林専門職大学（仮称）を受験したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

（問4で「大学・専門職大学進学」「短期大学・専門職短期大学進学」「専門学校進学」を選択した15,692人が回答）

問8 受験意向

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	受験したい	84	0.5
2	受験先として検討したい	357	2.3
3	わからない	2787	17.8
4	受験先として考えていない	12303	78.4
	不明	161	1.0
	合計	15692	100.0

問9 東北農林専門職大学（仮称）の受験理由

あなたが東北農林専門職大学（仮称）を受験したい、あるいは受験先として検討したい理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

（問8で東北農林専門職大学（仮称）を「受験したい」「受験先として検討したい」と回答した441人が回答）

問9 受験理由（複数回答）

(MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	興味のある学問分野だから	273	61.9
2	農林業分野に必要な知識・技術が学べるから	213	48.3
3	自宅から通学圏内にある大学だから	76	17.2
4	学べる内容やカリキュラムが良さそうだから	146	33.1
5	進路指導教諭から勧められたから	21	4.8
6	授業料が安いから	43	9.8
7	専門職大学だから	47	10.7
8	校舎や施設が充実していそうだから	120	27.2
9	公立大学だから	119	27.0
10	優れた教員が多そうだから	27	6.1
11	就職に有利そうだから	85	19.3
12	親の農林業経営を継承するため	35	7.9
13	その他	5	1.1
	不明	8	1.8
	合計	441	100.0

問 10 東北農林専門職大学（仮称）への進学意向

あなたは東北農林専門職大学（仮称）に合格したら、進学したいと思いますか。次の中から 1つだけ選んでください。

（問8で東北農林専門職大学（仮称）を「受験したい」「受験先として検討したい」と回答した441人が回答）

問 10 進学意向

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	進学したい	104	23.6
2	進学先の候補として検討したい	239	54.2
3	現時点ではまだわからない	78	17.7
4	進学を希望しない	12	2.7
	不明	8	1.8
	合計	441	100.0

問 11 進学希望学科

あなたは東北農林専門職大学（仮称）の2学科のうち、どちらの学科に進学したいと考えますか。次の中から 1つだけ選んでください。

（問 10 で東北農林専門職大学（仮称）に「進学したい」「進学先の候補として検討したい」と回答した343人が回答）

問 11 進学希望学科

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	農業経営学科	257	74.9
2	森林業経営学科	82	23.9
	不明	4	1.2
	合計	343	100.0

問 12 卒業後の希望就職先

【就職のことについてお聞きします】

あなたは大学・短大・専門学校等を卒業後、就職先として下記のいずれを希望しますか。次の中から**3つまで**選んでください。**回答後は問14にお進みください。**

(問10で東北農林専門職大学(仮称)に「進学したい」「進学先の候補として検討したい」と回答した343人が回答)

問 12 卒業後の希望就職先 (複数回答)

(MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	就職 (農業法人等に就職)	146	42.6
2	就職 (自営 実家を継承)	98	28.6
3	就職 (自営 独立)	85	24.8
4	林業就業 (森林組合、林業事業者等)	67	19.5
5	農業協同組合	95	27.7
6	林業公社	27	7.9
7	官公庁 (公務員)	88	25.7
8	製造業	35	10.2
9	卸売・小売・飲食業	60	17.5
10	建設業	23	6.7
11	不動産業	12	3.5
12	運輸・通信業	15	4.4
13	金融・保険業	29	8.5
14	サービス業	42	12.2
15	その他	20	5.8
	不明	22	6.4
	合計	343	100.0

問13 東北農林専門職大学（仮称）を受験先としない理由

あなたが東北農林専門職大学（仮称）を受験するかわからない、あるいは受験先として考えない理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

（問 8 で東北農林専門職大学（仮称）を「受験先として考えていない」「わからない」と回答した15,090人が回答）

問13 受験先としない理由

(MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	農林業系以外の学問分野に進学したいから	12774	84.7
2	農林業系の別の大学に進学したいから	3591	23.8
3	大学校など農林業系の2年制短期大学や専修学校（専門学校）に進学したいから	761	5.0
4	新設大学だから	1028	6.8
5	自宅から通学圏外にある大学だから	3591	23.8
6	入試の難易度が高そうだから	1259	8.3
7	4年間の授業料総額が高いから	1475	9.8
8	短大や専門学校に進学して早く社会に出たいから	981	6.5
9	専門職大学についてよく分からないから	3541	23.5
10	その他	836	5.5
	不明	400	2.7
	合計	15090	100.0

<アンケート調査票>

東北農林専門職大学(仮称)設置に関するアンケート調査

山形県では、東北農林専門職大学(仮称)の令和6年4月開学に向けて、設置の準備を進めています。このアンケート調査は、皆さまの高校卒業後の進路等についてお聞きし、専門職大学の開学に向けた資料とするものです。このアンケートで得られた結果は、回答者が分からないように統計的に処理した上で、資料として使用します。ご協力をお願いいたします。

配布したリーフレットを読み、下記の質問に回答してください。回答は設問の順に当てはまる番号等を【回答欄】の□の中に直接書いてください。

問1 あなたの性別についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

【回答欄】

- 1 男性 2 女性 3 その他

問2 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 山形県内(村山地域) 6 岩手県
2 山形県内(最上地域) 7 宮城県
3 山形県内(置賜地域) 8 秋田県
4 山形県内(庄内地域) 9 福島県
5 青森県 10 その他(具体的に)

問3 あなたが在籍する高校の学科についておたずねします。次の中から在籍している学科を1つだけ選んでください。

- 1 普通科・理系(理数科等を含む) 7 林業科
2 普通科・文系 8 工業科
3 普通科・探究コース 9 商業科
4 普通科・文理選択無し 10 総合学科
5 探究科 11 その他(具体的に)
6 農業科

【高校卒業後のことについてお聞きします】

問4 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

- 1 大学・専門職大学進学 }
2 短期大学・専門職短期大学進学 } 1、2、3 を選択された方は問5にお進みください。
3 専門学校進学 }
4 就職 }
5 その他(具体的に) } 4、5 を選択された方は問14にお進みください。

※ 専門職大学とは、特定の職業のプロフェッショナルになるために必要な知識・理論、そして実践的なスキルの両方を身に付けることができる、従来の大学に実践的な教育と他分野の教育を取り入れたハイブリッドな大学です。カリキュラムは、講義だけでなく、学内外で行われる豊富な実習が特徴となっており、理論と実践をバランス良く学べる内容となっています。

【次頁に続く】

問5 あなたが進学したいと考えている分野は何ですか。次の中から**関心のある分野を全て**選んでください。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 農林学関係 | 11 工学関係（情報除く） |
| 2 文学関係（史学・哲学含む） | 12 理学関係（生物、化学、地学、物理等） |
| 3 経営学関係 | 13 情報学関係 |
| 4 国際関係（外国語含む） | 14 家政学関係（被服・住居） |
| 5 法学・政治学関係 | 15 食物学・栄養学関係 |
| 6 経済学関係 | 16 医学・歯学・薬学関係 |
| 7 社会学・社会福祉学関係 | 17 看護・リハビリテーション学関係 |
| 8 心理学関係 | 18 体育学・スポーツ関係 |
| 9 教育学・保育学関係 | 19 その他 |
| 10 美術学・音楽学関係 | （具体的に |

【回答欄】

問6 あなたが進学先を決める場合に重視するものを、次の中から**優先順位第3位まで**選んでください。

- | | | |
|------------------|---------------------|---|
| 1 学部・学科の専攻分野 | 10 学校の所在地 | 第1位 |
| 2 教員の充実度 | 11 入試選抜方法や難易度が自分にあう | <input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/> |
| 3 希望する資格が取れる | 12 現役大学生や卒業生等の意見 | |
| 4 就職の実績が良い | 13 担任や進路指導教員の意見 | 第2位 |
| 5 就職支援の取組が充実している | 14 家族（親や兄弟）の意見 | <input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/> |
| 6 地元地域との連携・交流が盛ん | 15 国公立か私立か | |
| 7 施設が充実している | 16 特色ある教育研究 | 第3位 |
| 8 クラブ活動等が充実している | 17 その他 | <input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/> |
| 9 学費（入学金・授業料）の金額 | （具体的に | |

【東北農林専門職大学（仮称）についてお聞きます。お配りしたリーフレットをお読みになった上でお答えください。】

問7 東北農林専門職大学（仮称）には以下のような特色があります。あなたはどの特色に魅力を感じますか。次の中から**関心のあるものを全て**選んでください。

- 1 経営感覚と現場感覚に優れ、理論に裏打ちされた実践力を備えた人材の育成
- 2 戦略的な経営に取り組める農林業人材の育成
- 3 農林業を核とした関連産業の振興や価値の創出に資する人材の育成
- 4 最前線の需要をつかみ、新たな市場を開拓することができる人材の育成
- 5 高度で先進的な生産技術を修得した人材の育成
- 6 山形県をはじめ東北6県の多様な農業又は森林業産地での実習
- 7 海外の先進的な取組等を学ぶ海外実習
- 8 新たな事業展開へつなげていくための他分野の知識を修得することができる
- 9 フィールドワークなどを通じて地域課題の解決策を学ぶことができる
- 10 農林業に必要な資格が取得できる
- 11 少人数教育による学生一人ひとりが持つ能力を最大限に引き出す教育
- 12 キャリアサポートセンターによる充実したキャリア形成支援
- 13 その他（具体的に

問8 あなたは東北農林専門職大学（仮称）を受験したいと思いますか。次の中から**1つだけ**選んでください。

【回答欄】

- | | | |
|----------------|---|--------------------------|
| 1 受験したい | } | 1、2 を選択された方は問9にお進みください。 |
| 2 受験先として検討したい | | |
| 3 わからない | } | 3、4 を選択された方は問13にお進みください。 |
| 4 受験先として考えていない | | |

問9 あなたが東北農林専門職大学（仮称）を受験したい、あるいは受験先として検討したい理由は何ですか。次の中から**3つまで**選んでください。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 興味のある学問分野だから | 8 校舎や施設が充実していそうだから |
| 2 農林業分野で必要な知識・技術が学べるから | 9 公立大学だから |
| 3 自宅から通学圏内にある大学だから | 10 優れた教員が多そうだから |
| 4 学べる内容やカリキュラムが良さそうだから | 11 就職に有利そうだから |
| 5 進路指導教諭から勧められたから | 12 親の農林業経営を継承するため |
| 6 授業料が安いから | 13 その他 |
| 7 専門職大学だから | (具体的に) |

問10 あなたは東北農林専門職大学（仮称）に合格したら、進学したいと思いますか。次の中から**1つだけ**選んでください。

- | | | |
|------------------|---|--------------------------|
| 1 進学したい | } | 1、2 を選択された方は問11にお進みください。 |
| 2 進学先の候補として検討したい | | |
| 3 現時点ではまだわからない | } | 3、4 を選択された方は問14にお進みください。 |
| 4 進学を希望しない | | |

問11 あなたは東北農林専門職大学（仮称）の2学科のうち、どちらの学科に進学したいと考えますか。次の中から**1つだけ**選んでください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 農業経営学科 | 2 森林業経営学科 |
|----------|-----------|

【就職のことについてお聞きします】

問12 あなたは大学・短大・専門学校等を卒業後、就職先として下記のいずれを希望しますか。次の中から**3つまで**選んでください。**回答後は問14にお進みください。**

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 就農（農業法人等に就職） | 9 卸売・小売・飲食業 |
| 2 就農（自営 実家を継承） | 10 建設業 |
| 3 就農（自営 独立） | 11 不動産業 |
| 4 林業就業（森林組合、林業事業体等） | 12 運輸・通信業 |
| 5 農業協同組合 | 13 金融・保険業 |
| 6 林業公社 | 14 サービス業 |
| 7 官公庁（公務員） | 15 その他（具体的に) |
| 8 製造業 | |

問 13 あなたが東北農林専門職大学（仮称）を受験するかわからない、あるいは受験先として考えない理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 農林業系以外の学問分野に進学したいから
- 2 農林業系の別の大学に進学したいから
- 3 大学校など農林業系の2年制短期大学や専修学校（専門学校）に進学したいから
- 4 新設大学だから
- 5 自宅から通学圏外にある大学だから
- 6 入試の難易度が高そうだから
- 7 4年間の授業料総額が高いから
- 8 短大や専門学校に進学して早く社会に出たいから
- 9 専門職大学についてよく分からないから
- 10 その他（具体的に

【回答欄】

)

問 14 東北農林専門職大学（仮称）について、ご意見等がありましたらお聞かせください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

参考：（農業経営学科）東北地方に所在する大学の類似学部学科及び全国の類似する専門職大学一覧

区分	所在 県	大学名	学部学科名	入学 定員 (人)	入学 金 (円)	授業料 (円)	施設設備 費 (円)	初年度 納付金合計 (円)
公立	山形	東北農林専門職 大学（仮称）	農林業経営学部 農業経営学科	32	県内者 282,000	535,800	—	県内者 817,800
					県外者 564,000			県外者 1,099,800
国立	山形	山形大学	農学部 食料生命環境学科	165	282,000	535,800	—	817,800
国立	福島	福島大学	農学群 食農学類	100	282,000	535,800	—	817,800
公立	秋田	秋田県立大学	生物資源科学部	40 40 30 40	県内者 282,000	535,800	—	県内者 817,800
			応用生物科学科		県外者 423,000			県外者 958,800
			生物生産科学科					
			生物環境科学科 アグリビジネス学科					
公立	宮城	宮城大学	食産業学群 生物生産学類	62	県内者 282,000	535,800	—	県内者 817,800
			フードマネジメント学類	63	県外者 564,000			県外者 1,099,800
公立	静岡	静岡県立農林環 境専門職大学	生産環境経営学部 生産環境経営学科	24	県内者 141,000	322,300	—	県内者 463,300
					県外者 366,600			県外者 688,900
私立	青森	北里大学	獣医学部 動物資源科学科 生物環境科学科	130 90	250,000	830,000	270,000	1,350,000

参考：（森林業経営学科）東北地方に所在する大学の類似学部学科及び全国の類似する専門職大学一覧

区分	所在 県	大学名	学部学科名	入学 定員 (人)	入学 金 (円)	授業料 (円)	施設設備 費 (円)	初年度 納付金合計 (円)
公立	山形	東北農林専門職 大学（仮称）	農林業経営学部 森林業経営学科	8	県内者 282,000	535,800	—	県内者 817,800
					県外者 564,000			県外者 1,099,800
国立	岩手	岩手大学	農学部 森林科学科	30	282,000	535,800	—	817,800
国立	山形	山形大学	農学部 食料生命環境学科	165	282,000	535,800	—	817,800
公立	秋田	秋田県立大学	生物資源科学部 生物環境科学科	30	県内者 282,000	535,800	—	県内者 817,800
					県外者 423,000			県外者 958,800
公立	静岡	静岡県立農林環 境専門職大学	生産環境経営学部 生産環境経営学科	24	県内者 141,000	322,300	—	県内者 463,300
					県外者 366,600			県外者 688,900

注 1) 表中の情報は各大学 HP の記載をもとに作成。

注 2) 各大学の初年度納付金合計は諸会費等を含んでいない場合があるため、概算として参考にしてください。

注 3) 東北農林専門職大学（仮称）の入学金、授業料は予定であり、変更する場合があります。

東北農林専門職大学（仮称）

【令和6年4月開学に向け、設置構想中！】

農林業経営学部（仮称）

◆ 農業経営学科（仮称）（入学定員32名）

◆ 森林業経営学科（仮称）（入学定員8名）



※設置計画は予定であり、内容が変更となる場合があります。

東北農林専門職大学(仮称)は、「現場感覚・高度な経営感覚」を軸とした、
新たな経営戦略を構築・実践・検証し、更なる展開を目指す。

基本理念

【現場感覚・高度な経営感覚】

現場の先進的な経営や高度な技術を生きた教材としながら、経営感覚と現場感覚に優れ、理論に裏打ちされた実践力を備えた人材を育成します。

【進取果敢】

時代の変化を新たな成長へのチャンスととらえ、戦略的な経営に取り組める農林業人材を育成します。

【東北創生】

農林業を核とした関連産業の振興や価値の創出に資する人材育成及び研究開発を担い、「東北創生」の拠点を目指します。

学びのキーワードと主な授業科目

① 「将来を見通した経営」

経営分析・計画演習、SDGsと農業・森林業、農業（森林環境）政策 等

② 「消費マーケットを見据えた需要・市場開拓」

マーケティング論、国際農業(森林業)論、デザイン論、発酵学・醸造学、山形・東北観光学 等

③ 「高度で先進的な生産技術」

先端農業(森林業)技術論、栽培各論、森林情報学、圃場実習、演習林実習 等

④ 「幅広い教養を持つ地域のリーダー」

農山村活性化論、コミュニケーション論、哲学と東北 等

経営感覚」、「進取果敢」、「東北創生」を基本理念として、
へつなげることができる農林業経営者を育成します。

実践的スキルを身に付ける「臨地実務実習」

【臨地実務実習とは？】

大学キャンパスでなく農林業法人や企業内で長期間実習を行い、
実践的なスキルを身に付ける専門職大学の特徴的なプログラムです。

【特徴】

- ・山形県の全市町村に加え、東北各県に実習先を確保しています。
- ・山形県の特徴的な農産物はもちろん、多様な品目や、複合経営等の多様な経営形態の実習先を選択可能です。



【例えば、こんなところで学べます】

- ・観光さくらんぼ園と6次産業化に取り組む農業法人
- ・デジタル技術を活用した大規模稲作経営体
- ・先進地のヨーロッパ同等の高性能林業機械を駆使する森林組合
- ・大手ハウスメーカー等と取引のある東日本最大級の製材工場

取得可能な資格 農林業に必要な多くの資格が取得できます！

【農業経営学科】

- ・小型車両系建設機械(整地、積込み、運搬)特別教育
- ・食の6次産業化プロデューサー(レベル3)
- ・大型特殊自動車免許(農耕用) 等

【森林業経営学科】

- ・高性能林業機械特別教育
- ・森林情報士2級(森林GIS) 等



納入金

検定料	入学金	授業料(年額)
17,000円	県内者 282,000円 県外者 564,000円	535,800円

※この他に、実習実験費等の納付を別途求めることがあります。
具体的内容及び金額については今後検討します。

卒業後の進路例

就農・就業等に向け、専門職大学と関係機関等が連携して強力にサポート！
想定される進路は以下のとおりです。

- ・ 農業：独立就農、農業法人、農業関連団体 等
- ・ 林業：森林組合、素材生産事業体、製材・木材加工事業体、
森林業関連団体・企業、官公庁 等

アクセス

【電車】

J R新庄駅下車
↓
タクシー15分程度

【山交バス】

県立病院～鳥越線
「農大入口前」下車、
徒歩20分程度

【車】

尾花沢新庄道路「舟形
IC」を降りて国道13
号線へ。山交バス「農
大入口前」を西に約
1.4km



山形県産木材を内装に多く活用した温かみのある明るい新しい校舎で学べます。

【問合せ先】

山形県農林水産部専門職大学整備推進課
〒990-8570 山形県山形市松波2-8-1
TEL 023-630-2480 / FAX 023-630-2558
e-mail taf-u@pref.yamagata.jp
HP <https://ynodai.ac.jp/university/>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

山形県立農林大学校から4年制大学への編入学実績

卒業年月(編入学)	農業系学科	林業系学科
H30.3(H30.4)	4	3
H31.3(H31.4)	3	0
R2.3(R2.4)	4	1
R3.3(R3.4)	4	0
R4.3(R4.4)	1	0
年平均人数	3.2	0.8

高校卒業後の進学状況

【全国の卒業生数及び進学状況】

(単位:人)

学科	年	卒業生数	大学等 進学者数 (進学率)			専修学校 (専門課程) (進学率) 進学者数
			大学 (学部) (進学率)	短期大学 (本科) (進学率)		
全	平成29年	1,069,568	585,184 (54.7%)	528,686 (49.4%)	51,426 (4.8%)	173,676 (16.2%)
	平成30年	1,056,378	578,041 (54.7%)	524,158 (49.6%)	48,696 (4.6%)	168,782 (16.0%)
	令和元年	1,050,559	574,308 (54.7%)	523,466 (49.8%)	45,798 (4.4%)	172,059 (16.4%)
	令和2年	1,037,284	578,341 (55.8%)	529,009 (51.0%)	44,200 (4.3%)	174,822 (16.9%)
	令和3年	1,012,007	580,550 (57.4%)	534,312 (52.8%)	40,969 (4.0%)	175,185 (17.3%)
普通	平成29年	781,366	499,610 (63.9%)	462,193 (59.2%)	36,955 (4.7%)	115,026 (14.7%)
	平成30年	772,647	493,221 (63.8%)	457,807 (59.3%)	34,839 (4.5%)	111,901 (14.5%)
	令和元年	770,346	492,570 (63.9%)	458,757 (59.6%)	33,240 (4.3%)	115,320 (15.0%)
	令和2年	760,444	496,348 (65.3%)	463,945 (61.0%)	31,802 (4.2%)	118,106 (15.5%)
	令和3年	741,295	496,242 (66.9%)	466,686 (63.0%)	28,893 (3.9%)	115,188 (15.5%)
農業	平成29年	26,856	3,934 (14.6%)	2,664 (9.9%)	1,223 (4.6%)	6,802 (25.3%)
	平成30年	26,187	3,698 (14.1%)	2,484 (9.5%)	1,146 (4.4%)	6,989 (26.7%)
	令和元年	25,523	3,600 (14.1%)	2,556 (10.0%)	985 (3.9%)	6,637 (26.0%)
	令和2年	25,367	3,564 (14.0%)	2,395 (9.4%)	1,109 (4.4%)	6,530 (25.7%)
	令和3年	24,696	3,675 (14.9%)	2,462 (10.0%)	1,154 (4.7%)	6,994 (28.3%)

出典:文部科学省「学校基本調査」

大学進学率の増加(H29→R3)
 全学科 3.4ポイント
 普通科 3.8ポイント
 農業科 0.1ポイント

【山形県の卒業生数及び進学状況】

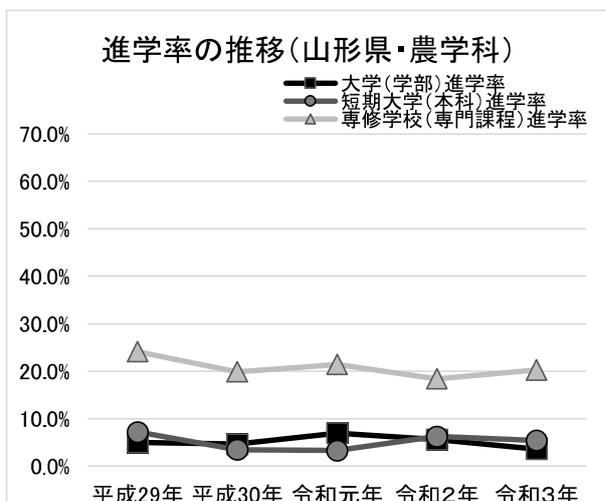
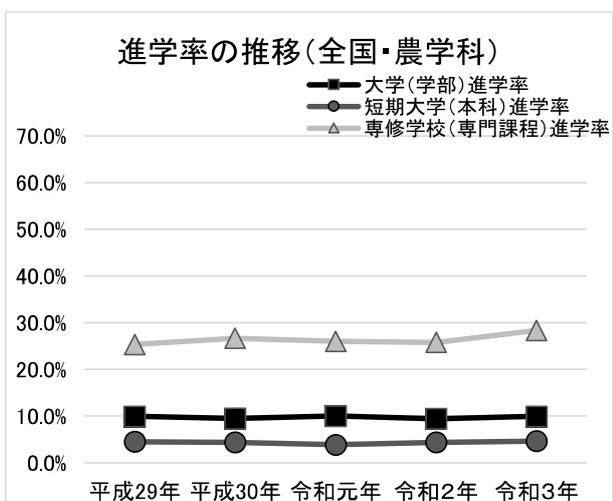
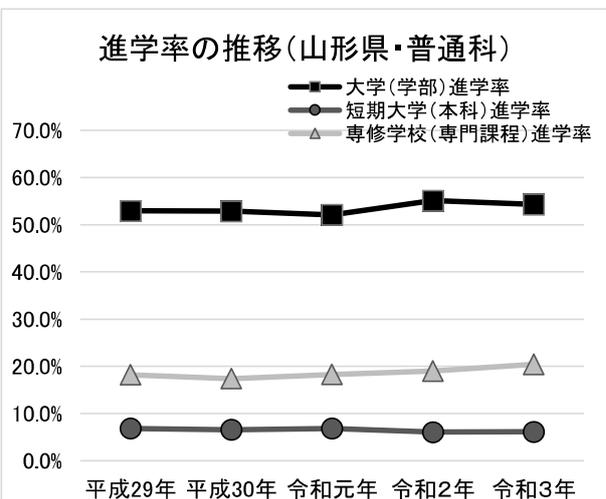
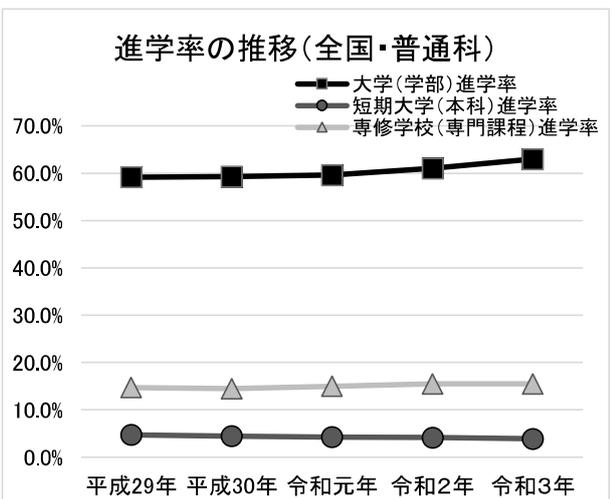
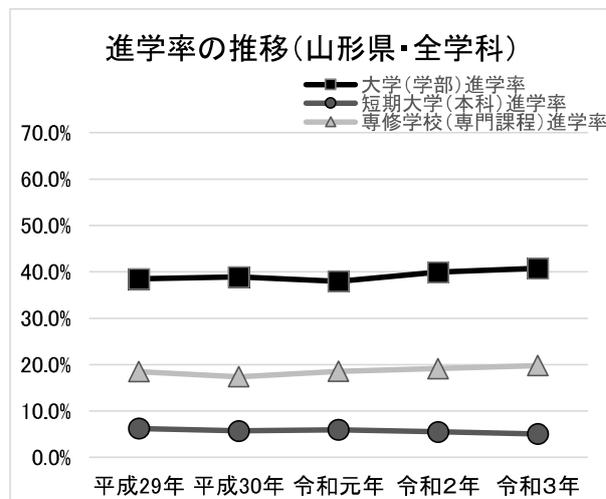
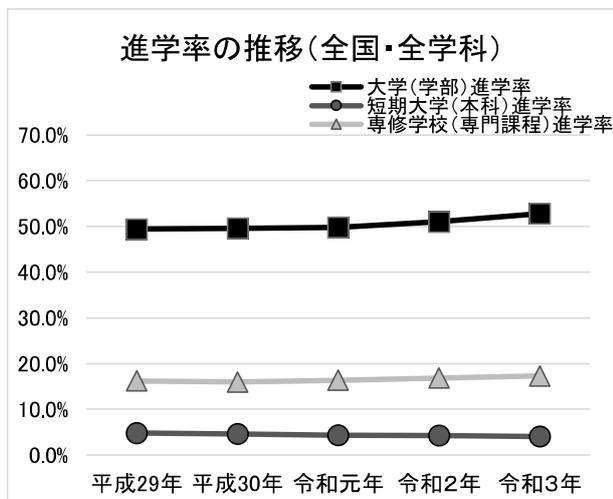
(単位:人)

学科	年	卒業生数	大学等 進学者数 (進学率)			専修学校 (専門課程) (進学率) 進学者数
			大学 (学部) (進学率)	短期大学 (本科) (進学率)		
全	平成29年	10,073	4,566 (45.3%)	3,876 (38.5%)	628 (6.2%)	1,859 (18.5%)
	平成30年	9,943	4,501 (45.3%)	3,865 (38.9%)	570 (5.7%)	1,729 (17.4%)
	令和元年	9,849	4,390 (44.6%)	3,736 (37.9%)	590 (6.0%)	1,823 (18.5%)
	令和2年	9,791	4,515 (46.1%)	3,912 (40.0%)	540 (5.5%)	1,872 (19.1%)
	令和3年	9,381	4,355 (46.4%)	3,821 (40.7%)	474 (5.1%)	1,858 (19.8%)
普通	平成29年	6,093	3,644 (59.8%)	3,227 (53.0%)	417 (6.8%)	1,111 (18.2%)
	平成30年	6,077	3,613 (59.5%)	3,215 (52.9%)	398 (6.5%)	1,057 (17.4%)
	令和元年	5,958	3,511 (58.9%)	3,104 (52.1%)	407 (6.8%)	1,090 (18.3%)
	令和2年	5,988	3,662 (61.2%)	3,299 (55.1%)	363 (6.1%)	1,137 (19.0%)
	令和3年	5,469	3,306 (60.4%)	2,972 (54.3%)	334 (6.1%)	1,117 (20.4%)
農業	平成29年	319	39 (12.2%)	16 (5.0%)	23 (7.2%)	77 (24.1%)
	平成30年	342	28 (8.2%)	16 (4.7%)	12 (3.5%)	68 (19.9%)
	令和元年	331	34 (10.3%)	23 (6.9%)	11 (3.3%)	71 (21.5%)
	令和2年	304	36 (11.8%)	17 (5.6%)	19 (6.3%)	56 (18.4%)
	令和3年	276	25 (9.1%)	10 (3.6%)	15 (5.4%)	56 (20.3%)

出典:文部科学省「学校基本調査」

大学進学率の増加(H29→R3)
 全学科 2.2ポイント
 普通科 1.3ポイント

高校卒業後の進学状況



出典:文部科学省「学校基本調査」

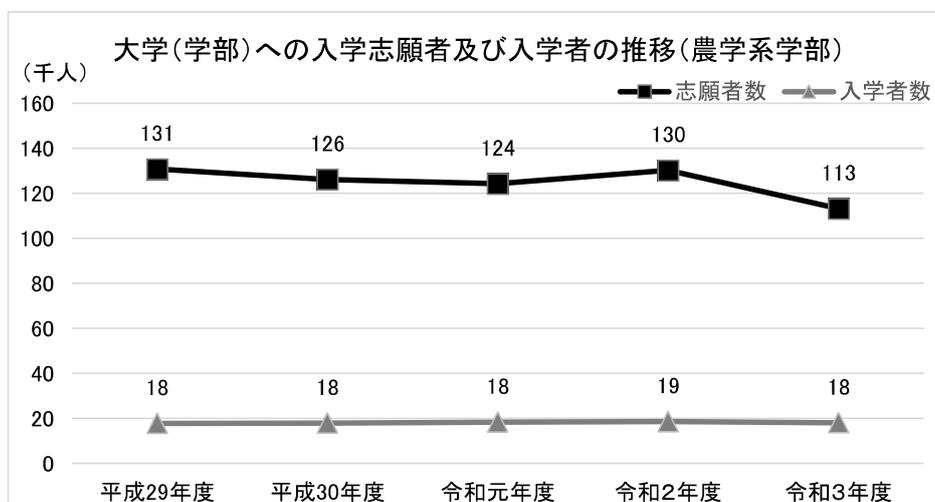
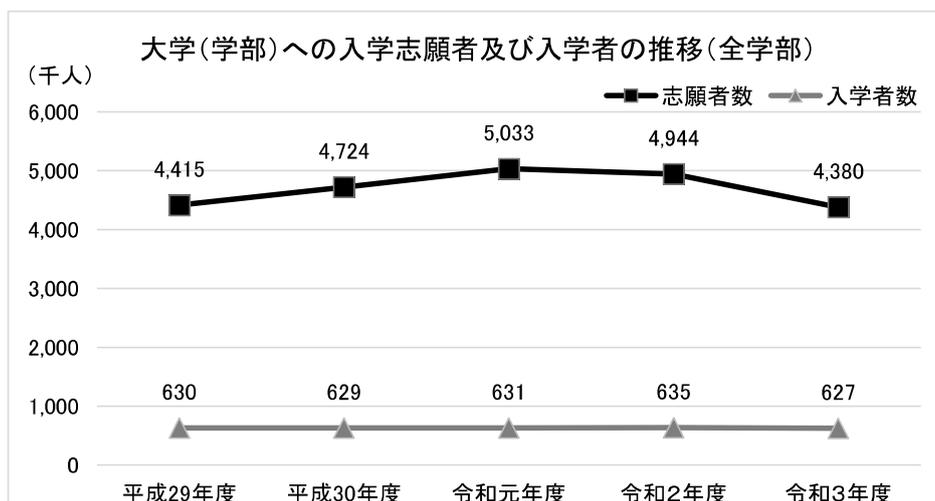
大学(学部)への入学志願者及び入学者の状況

(単位:人)

分類	区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増加率 (R3/H29)
全学部	志願者数 (前年比)	4,414,843 (110.8%)	4,723,558 (107.0%)	5,032,682 (106.5%)	4,943,946 (98.2%)	4,380,427 (88.6%)	-0.8%
	入学者数	629,733	628,821	631,273	635,003	627,040	-0.4%

農学系 学部	志願者数 (前年比)	130,743 (101.4%)	126,157 (96.5%)	124,229 (98.5%)	130,188 (104.8%)	113,167 (86.9%)	-13.4%
	入学者数	17,798	17,857	18,362	18,599	18,000	1.1%

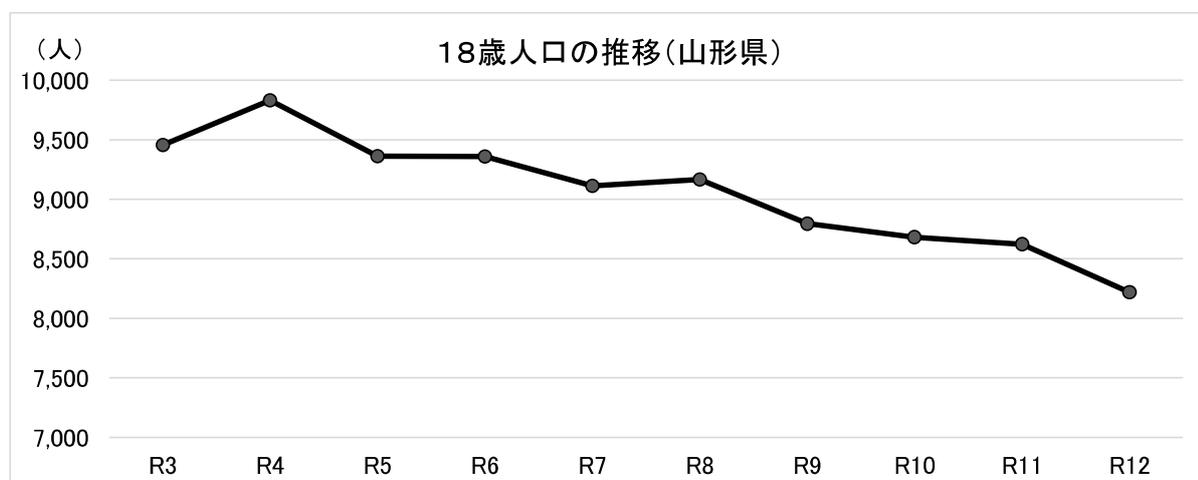
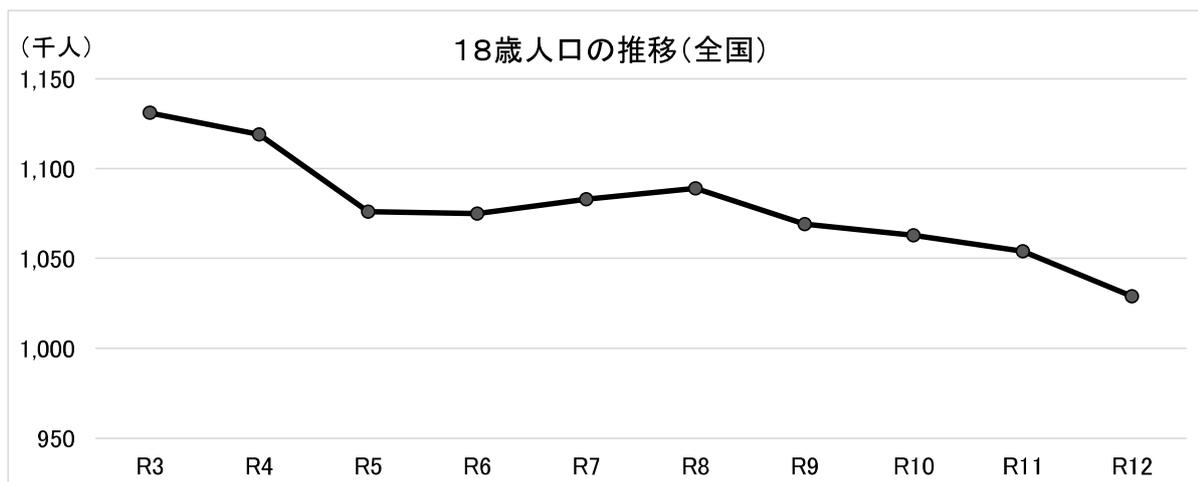
出典:文部科学省「学校基本調査」



18歳人口の推移

年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
全国(千人)	1,131	1,119	1,076	1,075	1,083	1,089
山形県(人)	9,457	9,830	9,362	9,358	9,113	9,166
(参考) 令和3年年齢	18	17	16	15	14	13

年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	減少率 (R12/R3)
全国(千人)	1,069	1,063	1,054	1,029	-9.0%
山形県(人)	8,795	8,682	8,623	8,220	-13.1%
(参考) 令和3年年齢	12	11	10	9	



出典:総務省統計局「人口推計」
※令和4年以降は推計値

学生納付金

【東北農林専門職大学の学生納付金】

学年	入学金	授業料	合計
1年次	(県内)282,000	535,800	817,800
	(県外)564,000		1,099,800
2年次	-	535,800	535,800
3年次	-	535,800	535,800
4年次	-	535,800	535,800
計	(県内)282,000	2,143,200	2,425,200
	(県外)564,000		2,707,200

【他大学の学生納付金】

所在地	区分	大学名	学部名	学科名	1年次			2年次以降 授業料	総計
					入学金	授業料	小計		
宮城	国立	東北大学	農学部		282,000	535,800	817,800	535,800	2,425,200
山形	国立	山形大学	農学部	食料生命環境学科	282,000	535,800	817,800	535,800	2,425,200
福島	国立	福島大学	食農学類		282,000	535,800	817,800	535,800	2,425,200
秋田	公立	秋田県立大学	生物資源科学部		(県内)282,000	535,800	817,800	535,800	2,425,200
					(県外)423,000		958,800		2,566,200
新潟	私立	新潟食料農業大学	食料産業学部	食料産業学科	250,000	900,000	1,150,000	1,000,000	4,150,000
神奈川	私立	東京農業大学	農学部	農学科	270,000	760,000	1,030,000	910,000	3,610,000

注1:各大学の情報は、公式ウェブサイト、学則等から引用。令和4年入学生を対象とした学生納付金

注2:2年次以降授業料:学年によって変動する場合は最高額となる学年の値を記載

山形県における大学進学状況

【県内大学への進学状況】

(単位:人)

年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
総数(a)	2,794		2,837		2,875		2,808		2,792	
県内流入者総数 (総数に対する比率)	1,906 (68.2%)		1,937 (68.3%)		1,946 (67.7%)		1,903 (67.8%)		1,868 (66.9%)	
1	宮城	594	宮城	551	宮城	548	宮城	567	宮城	554
2	福島	192	福島	238	福島	209	福島	183	福島	196
3	岩手	120	岩手	129	岩手	123	岩手	144	岩手	130
4	栃木	111	新潟	116	新潟	122	栃木	119	栃木	100
5	秋田	104	栃木	101	栃木	109	新潟	115	青森、秋田、新潟	90
6	新潟	101	青森	99	秋田	100	秋田	85	茨城	73
7	青森	84	秋田	99	青森	95	北海道	80	静岡	66
8	静岡	74	茨城	78	茨城	79	茨城	73	北海道、東京	58
9	茨城	70	北海道	75	北海道	76	青森	70	埼玉	48
10	東京	66	静岡	72	東京、静岡	57	東京、静岡	55	愛知	39
県内進学者数 (総数に対する比率)	888 (31.8%)		900 (31.7%)		929 (32.3%)		905 (32.2%)		924 (33.1%)	
東北6県からの進学者計 (総数に対する比率)	1,982 (70.9%)		2,016 (71.1%)		2,004 (69.7%)		1,954 (69.6%)		1,984 (71.1%)	

出典:文部科学省「学校基本調査」

【県内高校出身者の大学進学状況】

(単位:人)

年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
総数(b)	4,240		4,224		4,099		4,275		4,097	
県外流出者総数 (総数に対する比率)	3,352 (79.1%)		3,324 (78.7%)		3,170 (77.3%)		3,370 (78.8%)		3,173 (77.4%)	
1	宮城	855	宮城	787	宮城	841	宮城	862	宮城	766
2	東京	634	東京	629	東京	543	東京	627	東京	596
3	神奈川	304	神奈川	323	新潟	308	新潟	301	新潟	336
4	新潟	292	新潟	305	神奈川	226	神奈川	275	神奈川	245
5	埼玉	203	千葉	220	千葉	210	千葉	236	千葉	220
6	千葉	197	埼玉	193	埼玉	194	埼玉	185	埼玉	166
7	福島	157	福島	129	福島	129	福島	155	福島	154
8	栃木	80	栃木	96	北海道	92	北海道	87	北海道	82
9	秋田	74	北海道	93	秋田	76	岩手	86	秋田	74
10	北海道	73	秋田	80	群馬	72	栃木	84	群馬	70
県内進学者数 (総数に対する比率)	888 (20.9%)		900 (21.3%)		929 (22.7%)		905 (21.2%)		924 (22.6%)	

出典:文部科学省「学校基本調査」

【県内大学への進学(受入)状況と県内高校出身者の大学進学状況の差】

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
増減数(a-b)	▲ 1,446	▲ 1,387	▲ 1,224	▲ 1,467	▲ 1,305

東北地区の国公立大学の農学系学部の定員充足状況

No.	所在地	区分	大学名	学部名	学科名	収容定員	在籍者数	充足率
1	青森	国立	弘前大学	農学生命科学部	生物学科	160	178	111.3%
					分子生命科学科	160	170	106.3%
					食料資源学科	220	227	103.2%
					国際園芸農学科	200	210	105.0%
					地域環境工学科	120	130	108.3%
2	秋田	公立	秋田県立大学	生物資源科学部	応用生物科学科	160	172	107.5%
					生物生産科学科	160	170	106.3%
					生物環境科学科	120	135	112.5%
					アグリビジネス学科	160	172	107.5%
3	岩手	国立	岩手大学	農学部	植物生命科学科	162	168	103.7%
					応用生物化学科	162	167	103.1%
					森林科学科	120	137	114.2%
					食料生産環境学科	244	258	105.7%
					動物科学科	122	124	101.6%
4	山形	国立	山形大学	農学部	食料生命環境学科	660	684	103.6%
5	宮城	国立	東北大学	農学部		600	638	106.3%
6	福島	国立	福島大学	食農学類		400	416	104.0%
計						3,930	4,156	105.8%

出典 収容定員：各大学学則（東北大学は学部通則）

在籍者数：各大学ホームページ（岩手大学のみ電話聴取）

秋田県立大学22.04現在、岩手大学23.02現在、その他22.05現在

【参考】東北地区の公立大学の農学系類似学部（食産業）の定員充足状況

No.	所在地	区分	大学名	学部名	学科名	収容定員	在籍者数	充足率
1	宮城	公立	宮城大学	食産業学類		500	540	108.0%

出典 大学ホームページ（在籍者数は22.05現在）

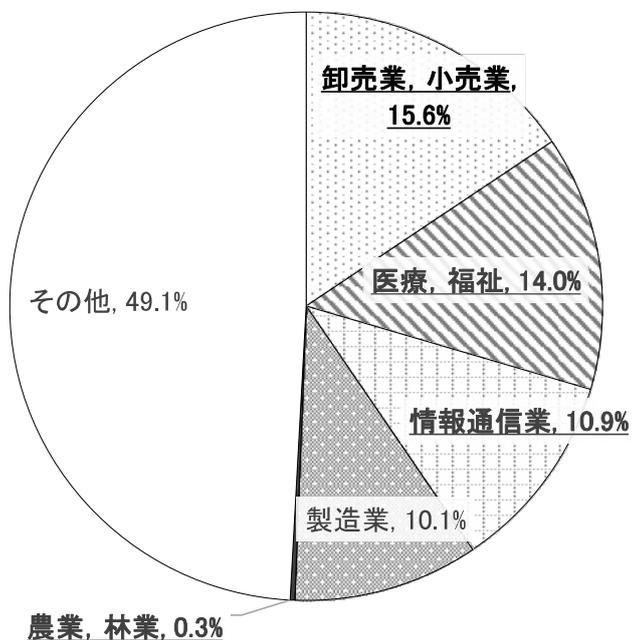
東北地区における農学系学部の設置状況

No.	所在地	区分	大学名	学部名	学科名	収容定員
1	青森	国立	弘前大学	農学生命科学部	生物学科	160
					分子生命科学科	160
					食料資源学科	220
					国際園芸農学科	200
					地域環境工学科	120
2	秋田	公立	秋田県立大学	生物資源科学部	応用生物科学科	160
					生物生産科学科	160
					生物環境科学科	120
					アグリビジネス学科	160
3	岩手	国立	岩手大学	農学部	植物生命科学科	162
					応用生物化学科	162
					森林科学科	120
					食料生産環境学科	244
					動物科学科	122
4	山形	国立	山形大学	農学部	食料生命環境学科	660
5	宮城	国立	東北大学	農学部	生物生産科学科	360
					応用生物化学科	240
6	福島	国立	福島大学	食農学類		400

出典：各大学学則（東北大学は学部通則）

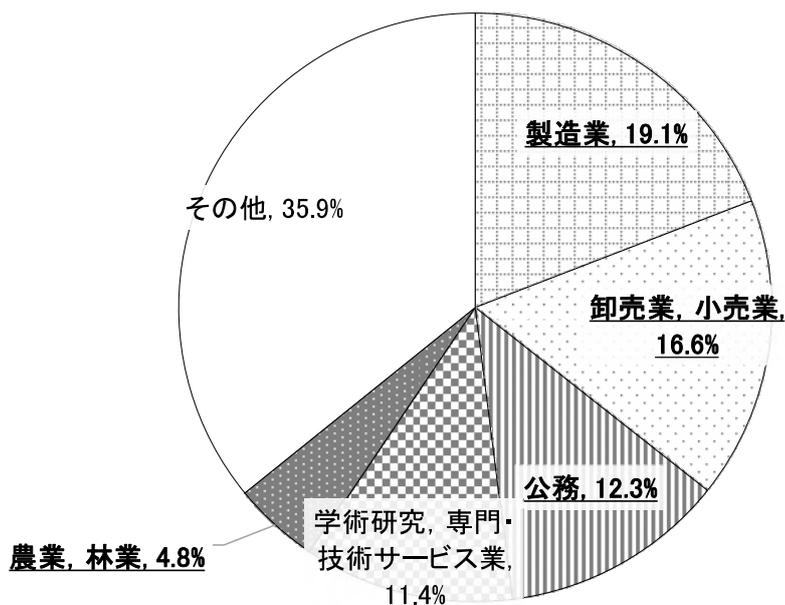
大卒者の産業別就職者数(全国)

大卒者の産業別就職状況(全学部)



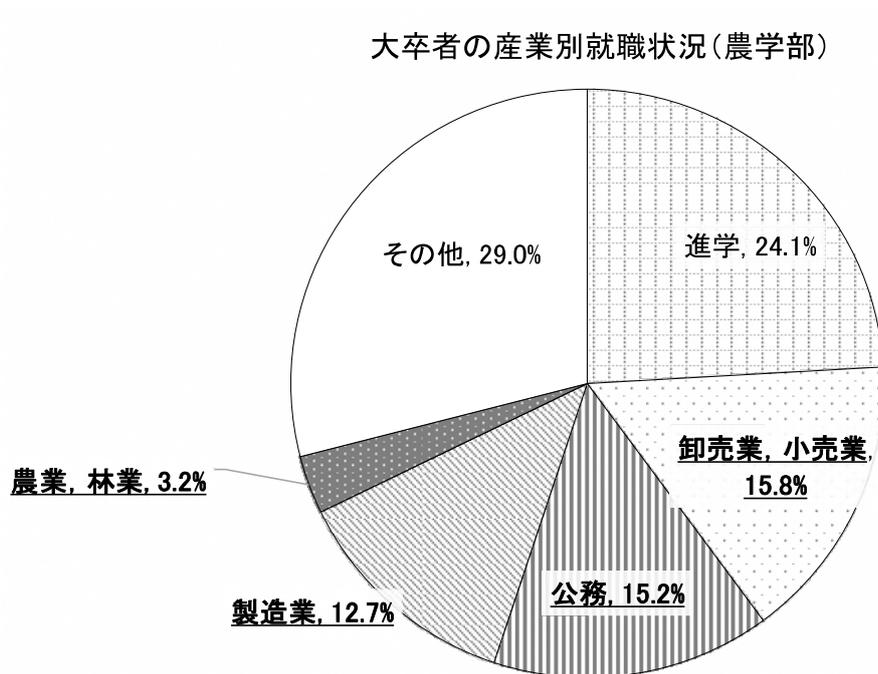
大学卒業者の産業別就職状況(全学部)(n=446,082)(令和3年3月)
出典:文部科学省「学校基本調査」

大卒者の産業別就職状況(農学部)



大学卒業者の産業別就職状況(農学部)(n=12,537)(令和3年3月)
出典:文部科学省「学校基本調査」

大卒者の産業別就職者数(山形県)



近隣大学卒業者の産業別就職状況(農学部)(n=158)(令和3年3月)
出典:山形大学ホームページ

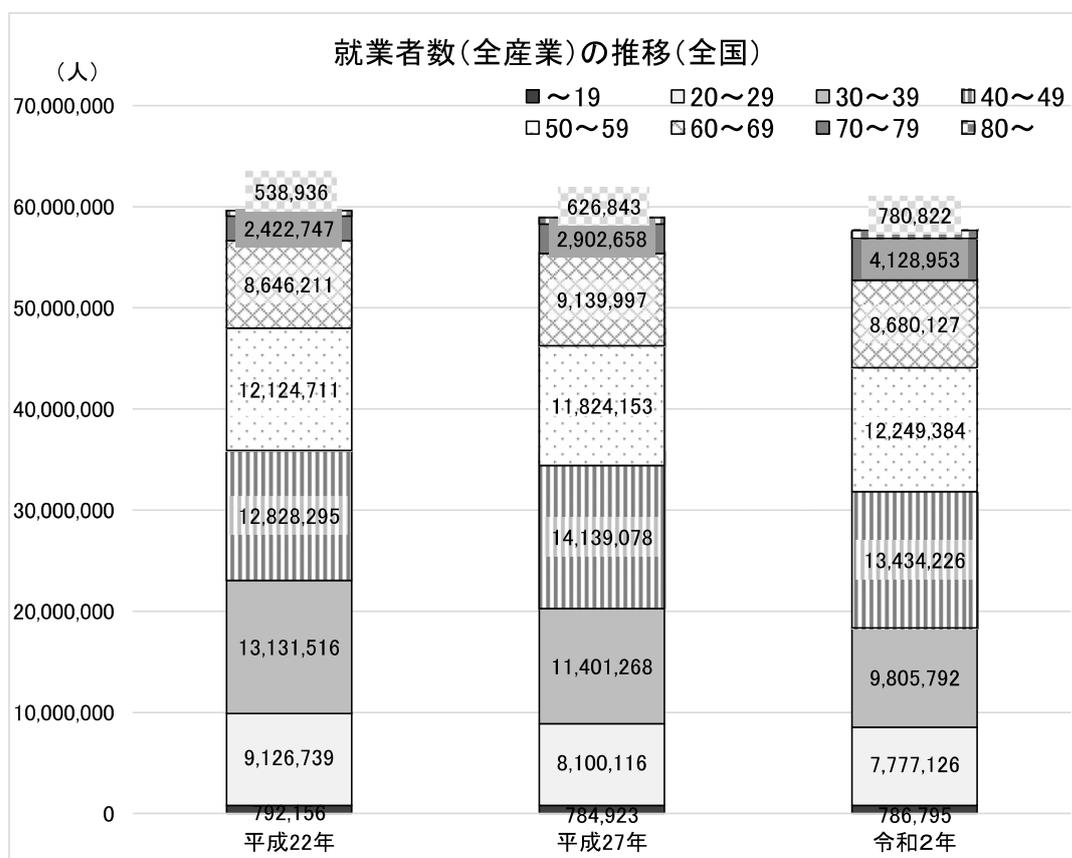
就業者の状況(全産業)(全国)

就業者数(全産業)(全国)

(単位:人)

年齢	平成22年		平成27年		令和2年		増減率 R2/H22
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	
～19	792,156	(1.3%)	784,923	(1.3%)	786,795	(1.4%)	-0.7%
20～29	9,126,739	(15.3%)	8,100,116	(13.7%)	7,777,126	(13.5%)	-14.8%
30～39	13,131,516	(22.0%)	11,401,268	(19.4%)	9,805,792	(17.0%)	-25.3%
40～49	12,828,295	(21.5%)	14,139,078	(24.0%)	13,434,226	(23.3%)	4.7%
50～59	12,124,711	(20.3%)	11,824,153	(20.1%)	12,249,384	(21.3%)	1.0%
60～69	8,646,211	(14.5%)	9,139,997	(15.5%)	8,680,127	(15.1%)	0.4%
70～79	2,422,747	(4.1%)	2,902,658	(4.9%)	4,128,953	(7.2%)	70.4%
80～	538,936	(0.9%)	626,843	(1.1%)	780,822	(1.4%)	44.9%
合計	59,611,311	(100.0%)	58,919,036	(100.0%)	57,643,225	(100.0%)	-3.3%
(再掲)65～	5,952,003	(10.0%)	7,525,579	(12.8%)	8,724,474	(15.1%)	46.6%

出典:総務省「国勢調査」



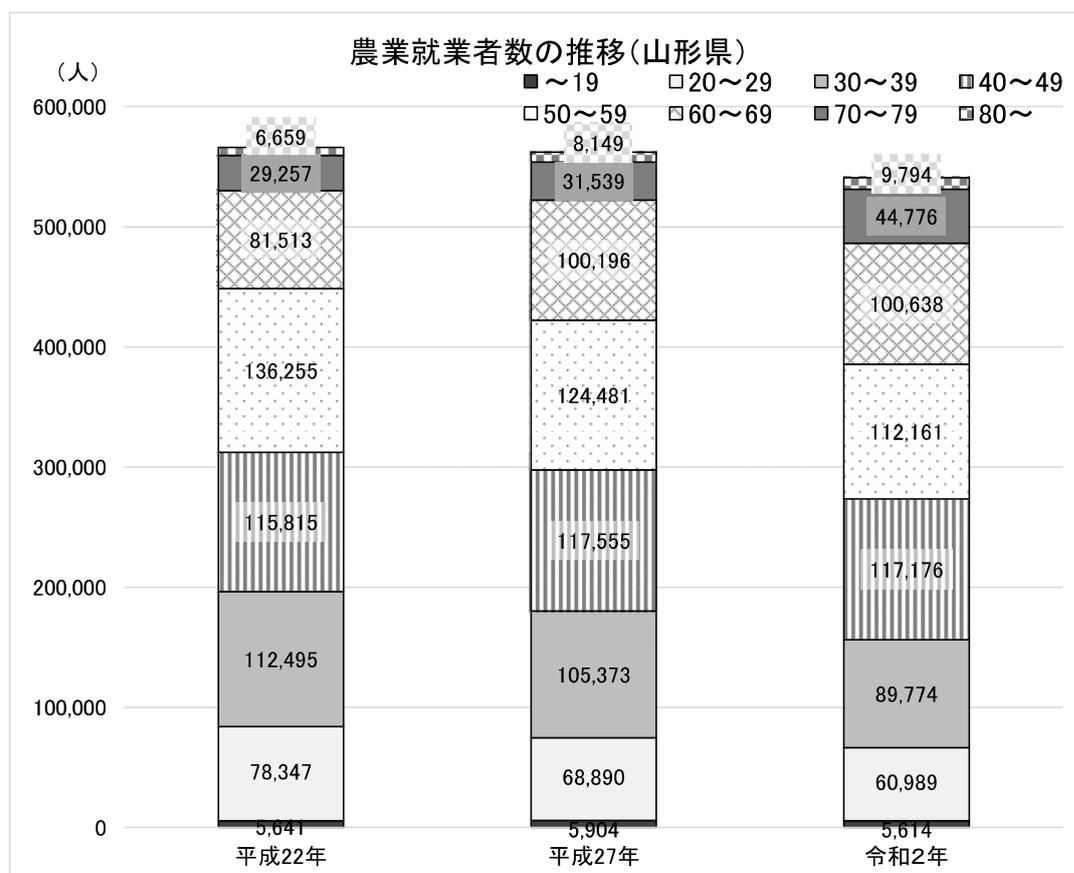
就業者の状況(全産業)(山形県)

就業者数(全産業)(山形県)

(単位:人)

年齢	平成22年		平成27年		令和2年		増減率 R2/H22
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	
～19	5,641	(1.0%)	5,904	(1.1%)	5,614	(1.0%)	-0.5%
20～29	78,347	(13.8%)	68,890	(12.3%)	60,989	(11.3%)	-22.2%
30～39	112,495	(19.9%)	105,373	(18.7%)	89,774	(16.6%)	-20.2%
40～49	115,815	(20.5%)	117,555	(20.9%)	117,176	(21.7%)	1.2%
50～59	136,255	(24.1%)	124,481	(22.1%)	112,161	(20.7%)	-17.7%
60～69	81,513	(14.4%)	100,196	(17.8%)	100,638	(18.6%)	23.5%
70～79	29,257	(5.2%)	31,539	(5.6%)	44,776	(8.3%)	53.0%
80～	6,659	(1.2%)	8,149	(1.4%)	9,794	(1.8%)	47.1%
合計	565,982	(100.0%)	562,087	(100.0%)	540,922	(100.0%)	-4.4%
(再掲)65～	62,917	(11.1%)	81,383	(14.5%)	99,961	(18.5%)	58.9%

出典:総務省「国勢調査」



参考資料② 食料自給率等の長期データ

年度	S40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
カロリーベース 食料自給率	73%	68%	66%	65%	62%	60%	58%	57%	55%	55%	54%	53%	53%	54%	54%	53%	52%	53%	52%
生産額ベース 食料自給率	86%	86%	91%	91%	89%	85%	80%	83%	81%	78%	83%	80%	85%	85%	81%	77%	78%	78%	79%
カロリーベース 食料国産率	76%	71%	70%	70%	66%	65%	64%	63%	62%	62%	61%	60%	61%	62%	62%	61%	61%	61%	61%
生産額ベース 食料国産率	90%	90%	95%	95%	93%	90%	84%	86%	86%	83%	87%	85%	89%	89%	85%	82%	82%	82%	83%

年度	59	60	61	62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
カロリーベース 食料自給率	53%	53%	51%	50%	50%	49%	48%	46%	46%	37%	46%	43%	42%	41%	40%	40%	40%	40%	40%
生産額ベース 食料自給率	81%	82%	83%	81%	77%	77%	75%	74%	76%	72%	78%	74%	71%	72%	71%	72%	71%	70%	70%
カロリーベース 食料国産率	62%	61%	60%	58%	58%	58%	57%	55%	55%	46%	55%	52%	50%	50%	49%	48%	48%	48%	49%
生産額ベース 食料国産率	86%	85%	86%	83%	79%	79%	78%	77%	79%	74%	80%	76%	74%	75%	73%	75%	74%	73%	73%

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3 (推算)
カロリーベース 食料自給率	40%	40%	40%	39%	40%	41%	40%	39%	39%	39%	39%	39%	39%	38%	38%	37%	38%	37%	38%
生産額ベース 食料自給率	71%	70%	70%	69%	67%	66%	70%	70%	67%	68%	66%	64%	66%	68%	66%	66%	66%	67%	63%
カロリーベース 食料国産率	48%	48%	48%	48%	48%	50%	49%	47%	47%	47%	47%	48%	48%	46%	47%	46%	46%	46%	47%
生産額ベース 食料国産率	74%	74%	73%	73%	72%	71%	74%	74%	71%	72%	71%	69%	70%	71%	70%	69%	70%	71%	69%

出典：農林水産省資料

② 食料自給率等の目標

第1表の食料消費見通し及び生産努力目標を前提として、諸課題が解決された場合に実現可能な水準として示す食料自給率等の目標は、次のとおりとする。

ア 食料自給率

a 供給熱量ベースの総合食料自給率

- ・食料のカロリー（熱量）に着目した、国内に供給される食料の熱量に対する国内生産の割合
- ・飼料も含めた自給の程度を評価
- ・我が国の食料安全保障の状況の評価

	平成 30 年度	令和 12 年度
供給熱量ベースの総合食料自給率	37%	45%
1人・1日当たり国産供給熱量（分子）	912 kcal/人・日	1,031 kcal/人・日
1人・1日当たり総供給熱量（分母）	2,443 kcal/人・日	2,314 kcal/人・日

b 生産額ベースの総合食料自給率

- ・食料の経済的価値に着目した、国内に供給される食料の生産額に対する国内生産の割合
- ・飼料も含めた自給の程度を評価
- ・我が国の農林水産業による経済活動の状況の評価

	平成 30 年度	令和 12 年度
生産額ベースの総合食料自給率	66%	75%
食料の国内生産額（分子）	10兆6,211億円	11兆8,914億円
食料の国内消費仕向額（分母）	16兆2,110億円	15兆8,178億円

イ 飼料自給率及び食料国産率

<飼料自給率>

- ・国内に供給される飼料に対する国内生産の割合
- ・国産飼料生産の状況の評価

<食料国産率>

- ・国内に供給される食料に対する国内生産の割合
- ・飼料が国産か輸入かにかかわらず、畜産業の活動を反映し、国内生産の状況の評価

	平成 30 年度	令和 12 年度
飼料自給率	25%	34%
供給熱量ベースの食料国産率	46%	53%
生産額ベースの食料国産率	69%	79%

注1：それぞれの目標の計算方法は以下のとおり。

$$\text{供給熱量ベースの総合食料自給率} = \frac{\text{国産供給熱量}}{\text{供給熱量}} = \frac{\text{純食料(国産)} \times \text{単位熱量}}{\text{純食料} \times \text{単位熱量}} \times (\text{畜産物})\text{飼料自給率}$$

$$\text{生産額ベースの総合食料自給率} = \frac{\text{食料の国内生産額}}{\text{食料の国内消費仕向額}} = \frac{\text{国内生産量(食用)} \times \text{国産単価} - (\text{畜産物})\text{飼料輸入額}}{\text{国内消費仕向量(食用)} \times \text{国内消費仕向単価}}$$

$$\text{飼料自給率} = \frac{\text{純国内産飼料供給量(TDNトン)}}{\text{飼料供給量(TDNトン)}}$$

※ TDN(可消化養分総量)は、エネルギー含量を示す単位であり、飼料の実量とは異なる

$$\text{供給熱量ベースの食料国産率} = \frac{\text{国産供給熱量}}{\text{供給熱量}} = \frac{\text{純食料(国産)} \times \text{単位熱量}}{\text{純食料} \times \text{単位熱量}}$$

$$\text{生産額ベースの食料国産率} = \frac{\text{食料の国内生産額}}{\text{食料の国内消費仕向額}} = \frac{\text{国内生産量(食用)} \times \text{国産単価}}{\text{国内消費仕向量(食用)} \times \text{国内消費仕向単価}}$$

注2：令和12年度における生産額ベースの総合食料自給率及び食料国産率については、各品目の現状の単価を基準に、TPPの影響等を見込んでいる。

出典：農林水産省「食料・農業・農村基本計画（令和2年3月）」

1. 森林の適正な整備・保全の推進

(1) 我が国の森林の状況と多面的機能

(森林の役割及び我が国の現状)

森林は、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、木材を始めとする林産物の供給等の多面的機能を有しており、国民生活の安定向上及び国民経済の健全な発展に大きく貢献している。このような機能を持続的に発揮していくためには、森林の適正な整備・保全を推進する必要がある。

我が国の森林面積はほぼ横ばいで推移しており、平成29(2017)年3月末現在で2,505万haであり、国土面積3,780万ha^{*1}のうち約3分の2が森林となっている。

我が国の森林の約4割に相当する1,020万haは人工林である。終戦直後や高度経済成長期に造林されたものが多く、その半数が一般的な主伐期である50年生を超え、本格的な利用期を迎えている(資料1-1)。

我が国の森林蓄積は人工林を中心に年々増加してきており、平成29(2017)年3月末現在で約52億m³となっている。このうち人工林が約33億m³と約6割を占めている(資料1-2)。

資料1-2 我が国の森林蓄積の推移



注：昭和41(1966)年は昭和41(1966)年度、昭和51(1976)～平成29(2017)年は各年3月31日現在の数値。

資料：林野庁「森林資源の現況」

資料1-1 人工林の齢級構成の変化



注：齢級は、林齢を5年の幅でくくった単位。苗木を植栽した年を1年生として、1～5年生を「1齢級」と数える。

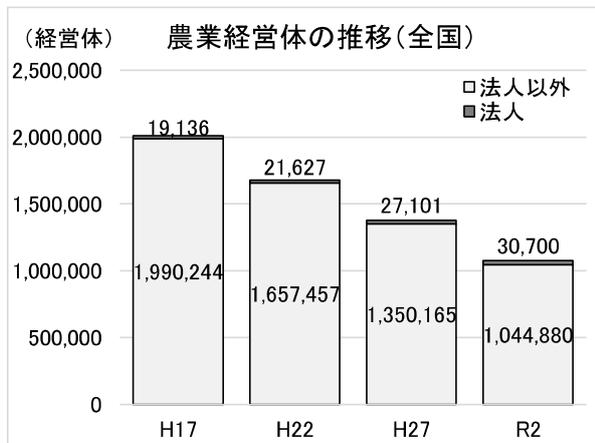
資料：林野庁「森林資源の現況」(平成29(2017)年3月31日現在)、林野庁「日本の森林資源」(昭和43(1968)年4月)

*1 国土地理院「令和4年全国都道府県市区町村別面積調」(令和4(2022)年1月1日現在)による。

農林業経営体等の状況(全国)

農業経営体(全国) (単位:経営体)

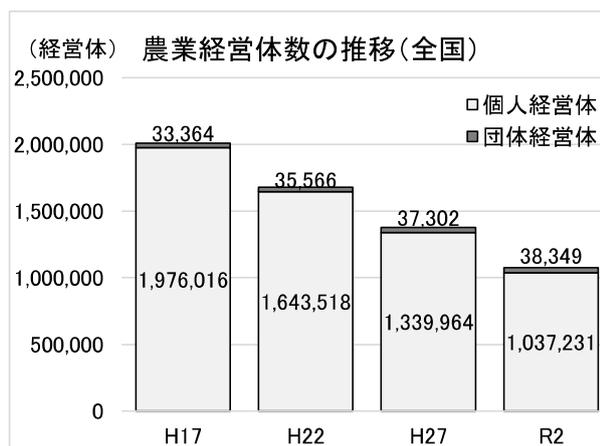
年		総数	うち法人
平成17年		2,009,380	19,136
平成22年		1,679,084	21,627
平成27年		1,377,266	27,101
令和2年		1,075,580	30,700
増減率	H22/H17	-16.4%	13.0%
	H27/H22	-18.0%	25.3%
	R2/H27	-21.9%	13.3%
	R2/H17	-46.5%	60.4%



出典:農林水産省「農林業センサス」

農業経営体(全国) (単位:経営体)

年		総数	個人経営体	団体経営体
平成17年		2,009,380	1,976,016	33,364
平成22年		1,679,084	1,643,518	35,566
平成27年		1,377,266	1,339,964	37,302
令和2年		1,075,580	1,037,231	38,349
増減率	H22/H17	-16.4%	-16.8%	6.6%
	H27/H22	-18.0%	-18.5%	4.9%
	R2/H27	-21.9%	-22.6%	2.8%
	R2/H17	-46.5%	-47.5%	14.9%



出典:農林水産省「農林業センサス」

経営耕地面積規模別農業経営体数(全国)

(単位:経営体)

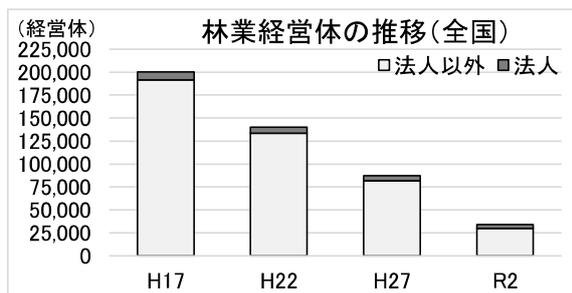
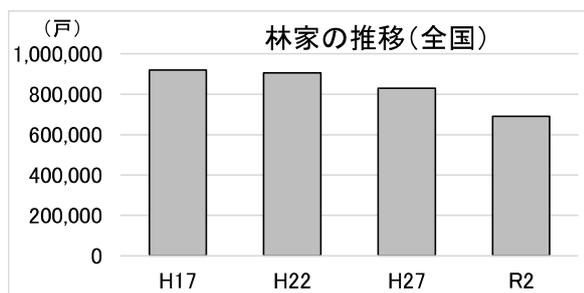
年	経営耕地面積							総数	
	1ha未満	1~10ha	10~20ha	20~30ha	30~50ha	50~100ha	100ha以上		
平成17年	1,150,656	815,680	21,556	8,259	7,468	4,897	864	2,009,380	
平成22年	932,674	696,868	23,682	9,797	8,986	5,857	1,220	1,679,084	
平成27年	741,363	583,119	25,396	10,292	9,385	6,121	1,590	1,377,266	
令和2年	565,425	454,995	25,775	10,859	10,103	6,490	1,933	1,075,580	
増減率	H22/H17	-18.9%	-14.6%	9.9%	18.6%	20.3%	19.6%	41.2%	-16.4%
	H27/H22	-20.5%	-16.3%	7.2%	5.1%	4.4%	4.5%	30.3%	-18.0%
	R2/H27	-23.7%	-22.0%	1.5%	5.5%	7.7%	6.0%	21.6%	-21.9%
	R2/H17	-50.9%	-44.2%	19.6%	31.5%	35.3%	32.5%	123.7%	-46.5%

出典:農林水産省「農林業センサス」

林業経営体(全国)

(単位:戸、経営体)

年	林家	林業経営体		
			うち法人	
平成17年	919,833	200,224	8,500	
平成22年	906,805	140,186	6,789	
平成27年	828,973	87,284	5,599	
令和2年	690,047	33,995	4,091	
増減率	H22/H17	-1.4%	-30.0%	-20.1%
	H27/H22	-8.6%	-37.7%	-17.5%
	R2/H27	-16.8%	-61.1%	-26.9%
	R2/H17	-25.0%	-83.0%	-51.9%



保有山林面積規模別林家戸数(全国)

(単位:戸)

年	保有山林面積					総数	
	5ha未満	5~10ha	10~50ha	50~100ha	100ha以上		
平成17年	691,774	120,453	97,467	6,900	3,239	919,833	
平成22年	680,686	119,292	96,672	6,797	3,358	906,805	
平成27年	616,687	110,944	90,980	6,715	3,647	828,973	
令和2年	511,744	92,982	76,481	5,683	3,157	690,047	
増減率	H22/H17	-1.6%	-1.0%	-0.8%	-1.5%	3.7%	-1.4%
	H27/H22	-9.4%	-7.0%	-5.9%	-1.2%	8.6%	-8.6%
	R2/H27	-17.0%	-16.2%	-15.9%	-15.4%	-13.4%	-16.8%
	R2/H17	-26.0%	-22.8%	-21.5%	-17.6%	-2.5%	-25.0%

保有山林面積規模別林業経営体数(全国)

(単位:経営体)

年	保有山林面積					総数	
	5ha未満	5~10ha	10~50ha	50~100ha	100ha以上		
平成17年	67,378	59,869	61,386	6,347	5,244	200,224	
平成22年	43,691	41,264	45,857	4,892	4,482	140,186	
平成27年	26,014	24,391	29,687	3,572	3,620	87,284	
令和2年	7,755	8,196	13,068	2,150	2,826	33,995	
増減率	H22/H17	-35.2%	-31.1%	-25.3%	-22.9%	-14.5%	-30.0%
	H27/H22	-40.5%	-40.9%	-35.3%	-27.0%	-19.2%	-37.7%
	R2/H27	-70.2%	-66.4%	-56.0%	-39.8%	-21.9%	-61.1%
	R2/H17	-88.5%	-86.3%	-78.7%	-66.1%	-46.1%	-83.0%

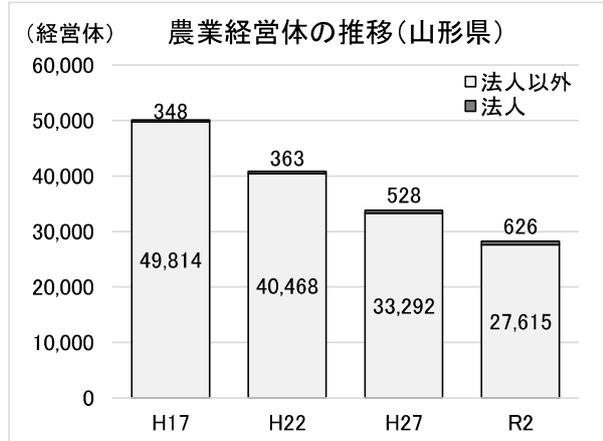
出典:農林水産省「農林業センサス」

農林業経営体等の状況(山形県)

農業経営体(山形) (単位:経営体)

年		総数	うち法人
平成17年		50,162	348
平成22年		40,831	363
平成27年		33,820	528
令和2年		28,241	626
増減率	H22/H17	-18.6%	4.3%
	H27/H22	-17.2%	45.5%
	R2/H27	-16.5%	18.6%
	R2/H17	-43.7%	79.9%

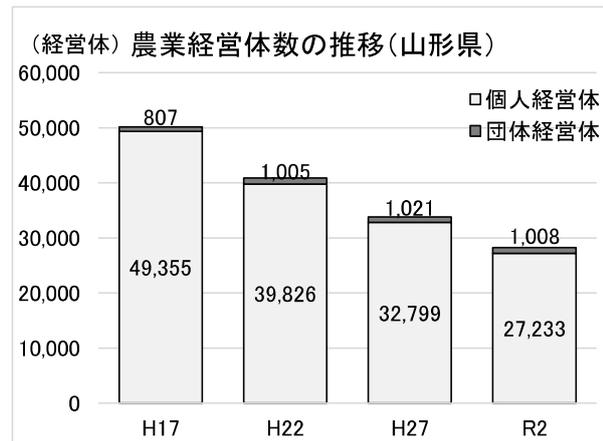
出典:農林水産省「農林業センサス」



農業経営体(山形) (単位:経営体)

年		総数	個人経営体	団体経営体
平成17年		50,162	49,355	807
平成22年		40,831	39,826	1,005
平成27年		33,820	32,799	1,021
令和2年		28,241	27,233	1,008
増減率	H22/H17	-18.6%	-19.3%	24.5%
	H27/H22	-17.2%	-17.6%	1.6%
	R2/H27	-16.5%	-17.0%	-1.3%
	R2/H17	-43.7%	-44.8%	24.9%

出典:農林水産省「農林業センサス」



経営耕地面積規模別農業経営体数(山形)

(単位:経営体)

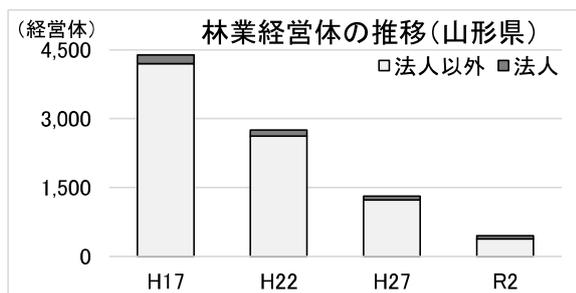
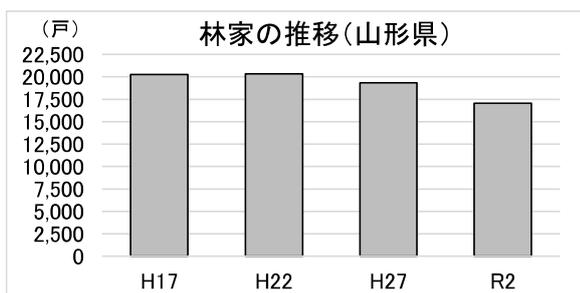
年	経営耕地面積							総数	
	1ha未満	1~10ha	10~20ha	20~30ha	30~50ha	50~100ha	100ha以上		
平成17年	18,611	30,911	558	47	21	8	6	50,162	
平成22年	16,062	23,688	788	107	92	62	32	40,831	
平成27年	11,891	20,536	1,038	167	98	69	21	33,820	
令和2年	9,619	16,773	1,315	298	144	72	20	28,241	
増減率	H22/H17	-13.7%	-23.4%	41.2%	127.7%	338.1%	675.0%	433.3%	-18.6%
	H27/H22	-26.0%	-13.3%	31.7%	56.1%	6.5%	11.3%	-34.4%	-17.2%
	R2/H27	-19.1%	-18.3%	26.7%	78.4%	46.9%	4.3%	-4.8%	-16.5%
	R2/H17	-48.3%	-45.7%	135.7%	534.0%	585.7%	800.0%	233.3%	-43.7%

出典:農林水産省「農林業センサス」

林業経営体(山形県)

(単位:戸、経営体)

年	林家	林業経営体		
			うち法人	
平成17年	20,257	4,388	189	
平成22年	20,320	2,751	125	
平成27年	19,351	1,317	90	
令和2年	17,073	451	68	
増減率	H22/H17	0.3%	-37.3%	-33.9%
	H27/H22	-4.8%	-52.1%	-28.0%
	R2/H27	-11.8%	-65.8%	-24.4%
	R2/H17	-15.7%	-89.7%	-64.0%



保有山林面積規模別林家戸数(山形県)

(単位:戸)

年	保有山林面積					総数	
	5ha未満	5~10ha	10~50ha	50~100ha	100ha以上		
平成17年	15,794	2,473	1,854	105	31	20,257	
平成22年	15,784	2,501	1,893	109	33	20,320	
平成27年	14,908	2,420	1,859	118	46	19,351	
令和2年	13,061	2,174	1,691	105	42	17,073	
増減率	H22/H17	-0.1%	1.1%	2.1%	3.8%	6.5%	0.3%
	H27/H22	-5.5%	-3.2%	-1.8%	8.3%	39.4%	-4.8%
	R2/H27	-12.4%	-10.2%	-9.0%	-11.0%	-8.7%	-11.8%
	R2/H17	-17.3%	-12.1%	-8.8%	0.0%	35.5%	-15.7%

保有山林面積規模別林業経営体数(山形県)

(単位:経営体)

年	保有山林面積					総数	
	5ha未満	5~10ha	10~50ha	50~100ha	100ha以上		
平成17年	1,598	1,354	1,229	100	107	4,388	
平成22年	929	830	822	84	86	2,751	
平成27年	403	371	429	45	69	1,317	
令和2年	98	104	172	26	51	451	
増減率	H22/H17	-41.9%	-38.7%	-33.1%	-16.0%	-19.6%	-37.3%
	H27/H22	-56.6%	-55.3%	-47.8%	-46.4%	-19.8%	-52.1%
	R2/H27	-75.7%	-72.0%	-59.9%	-42.2%	-26.1%	-65.8%
	R2/H17	-93.9%	-92.3%	-86.0%	-74.0%	-52.3%	-89.7%

出典:農林水産省「農林業センサス」

東北農林専門職大学（仮称）設置に関するアンケート調査（事業所）

報 告 書

令和 4 年 1 0 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>.....	2
<アンケート集計結果の概要>	
今後の採用方針（問5）.....	4
東北農林専門職大学（仮称）への興味（問7）.....	6
東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向（問10）.....	7
クロス集計 問10×問5.....	9
<アンケート調査集計表>.....	11
<アンケート調査票>.....	23

<アンケート調査概要>

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート調査の目的

山形県は令和6年4月開学に向けて東北農林専門職大学（仮称）の設置計画を進めている。本専門職大学卒業生の採用意向など人材需要の見通しについて把握するため、事業所等を対象にアンケート調査を実施した。

2. 調査対象

農業、林業、関連企業（製造業、卸売・小売業等）、関連団体（JA、林業公社等）

3. 調査実施時期

令和4年6～8月に調査を実施。

4. 調査方法

（一財）日本開発構想研究所が郵送によりアンケート調査票を配付し、調査票の回収及び集計を行った。

5. 回収状況

標本数：1,033件

回収数：445件（回収率43.1%）

<アンケート集計結果の概要>

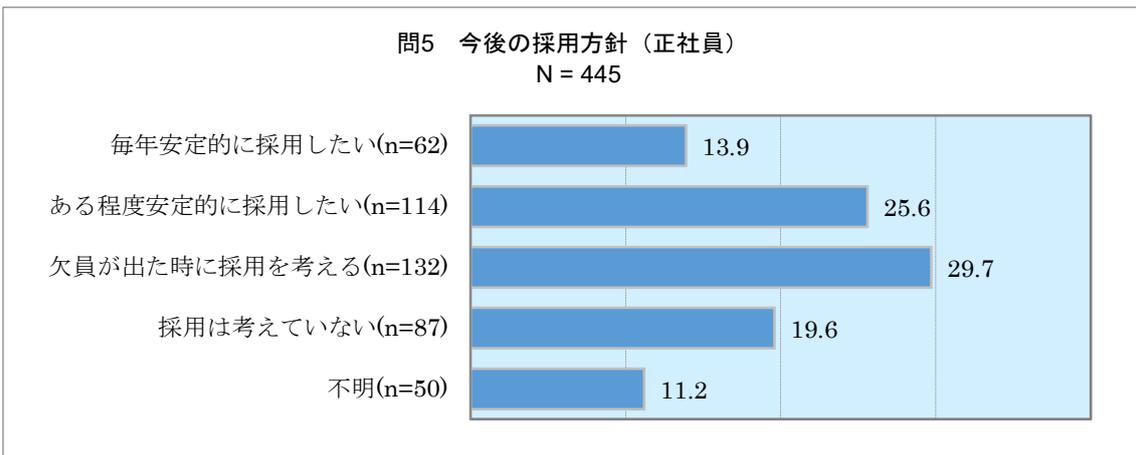
■ 今後の採用方針（問5）

問5 今後の採用方針について、正社員及び正社員以外（パート、アルバイト、農業研修生等）ごとに次の中から最もあてはまる番号を1つだけ選んで下さい。

・今後の採用方針（正社員）

「毎年安定的に採用したい」62件(13.9%)、「ある程度安定的に採用したい」114件(25.6%)、「欠員が出た時に採用を考える」132件(29.7%)、「採用は考えていない」87件(19.6%)となっている。

「毎年安定的に採用したい」「ある程度安定的に採用したい」を合計すると、176件(39.5%)が安定的な採用を考えている。



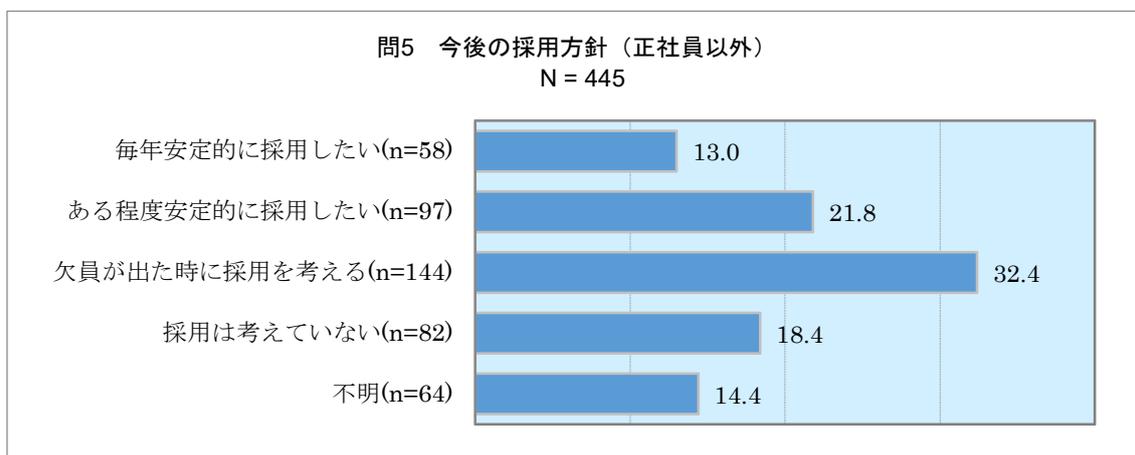
問5 今後の採用方針（正社員）

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	毎年安定的に採用したい	62	13.9
2	ある程度安定的に採用したい	114	25.6
3	欠員が出た時に採用を考える	132	29.7
4	採用は考えていない	87	19.6
	不明	50	11.2
	合計	445	100.0

・今後の採用方針（正社員以外）

「毎年安定的に採用したい」58件(13.0%)、「ある程度安定的に採用したい」97件(21.8%)、「欠員が出た時に採用を考える」144件(32.4%)、「採用は考えていない」82件(18.4%)となっている。



問5 今後の採用方針（正社員以外） (SA)

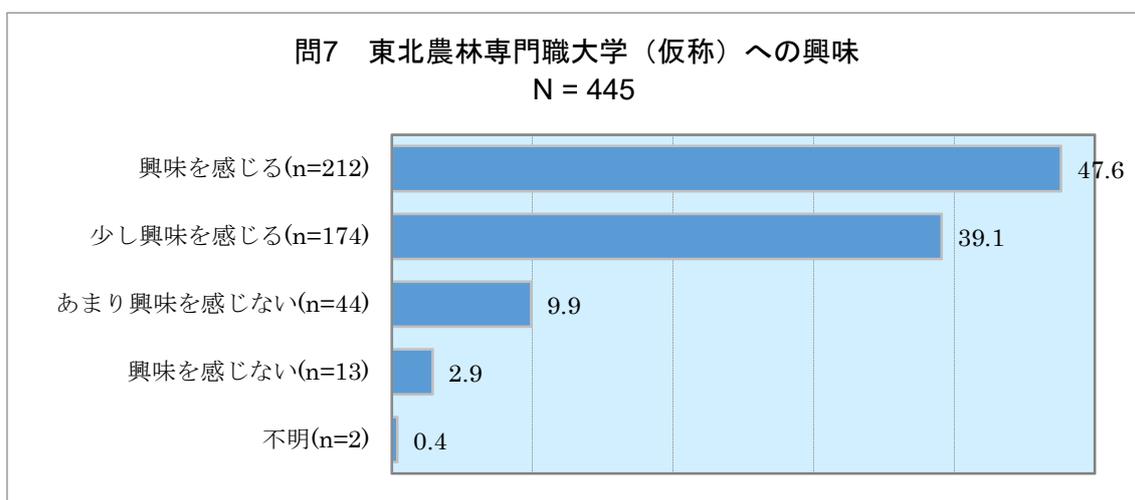
No.	カテゴリ	件数	%
1	毎年安定的に採用したい	58	13.0
2	ある程度安定的に採用したい	97	21.8
3	欠員が出た時に採用を考える	144	32.4
4	採用は考えていない	82	18.4
	不明	64	14.4
	合計	445	100.0

■ 東北農林専門職大学（仮称）への興味（問7）

問7 東北農林専門職大学（仮称）について興味がありますか。該当する番号を1つだけ選んで下さい。

東北農林専門職大学（仮称）への興味の有無については、「興味を感じる」が 212 件（47.6%）、「少し興味を感じる」が 174 件（39.1%）、「あまり興味を感じない」が 44 件（9.9%）、「興味を感じない」が 13 件（2.9%）となっている。

回答事業所の半数近くが東北農林専門職大学（仮称）に興味を示している（「興味を感じる」）。また「興味を感じる」「少し興味を感じる」と回答した事業所の合計は 86.7%・386 件となっており、東北農林専門職大学（仮称）への関心は非常に高いと言える。



問7 東北農林専門書大学（仮称）への興味 (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	興味を感じる	212	47.6
2	少し興味を感じる	174	39.1
3	あまり興味を感じない	44	9.9
4	興味を感じない	13	2.9
	不明	2	0.4
	合計	445	100.0

■ 東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向（問 10）

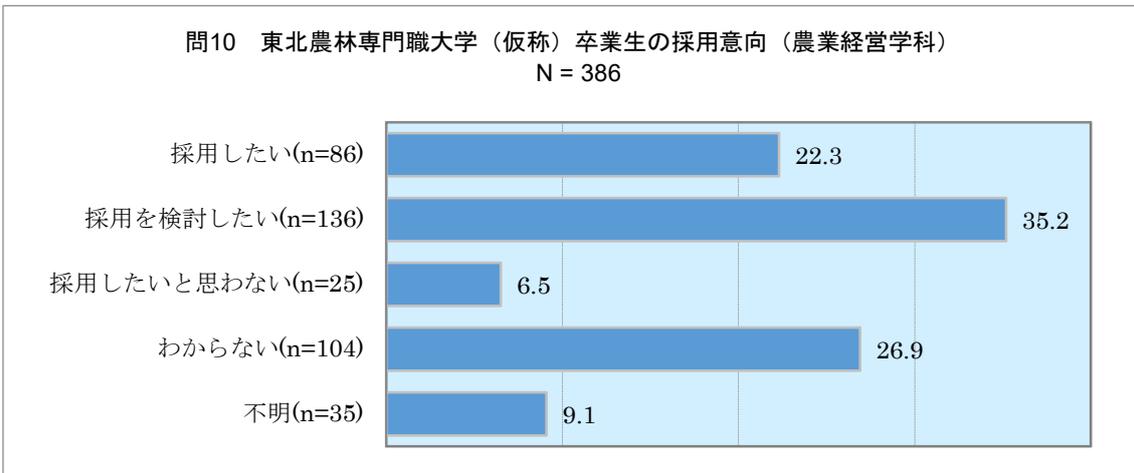
問 10 東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向についてお尋ねします。開設する学科ごとに、次の中から最もあてはまる番号を1つだけ選んで下さい。回答後は問 12 にお進み下さい。

（問7で東北農林専門職大学（仮称）に「興味を感じる」「少し興味を感じる」と回答した386件が回答）

農業経営学科

「採用したい」86件(22.3%)、「採用を検討したい」136件(35.2%)、「採用したいと思わない」25件(6.5%)、「わからない」104件(26.9%)となっている。

「採用したい」「採用を検討したい」を合計すると、222件（57.5%）が東北農林専門職大学農業経営学科（仮称）卒業生の採用に前向きな姿勢を示しているといえる。



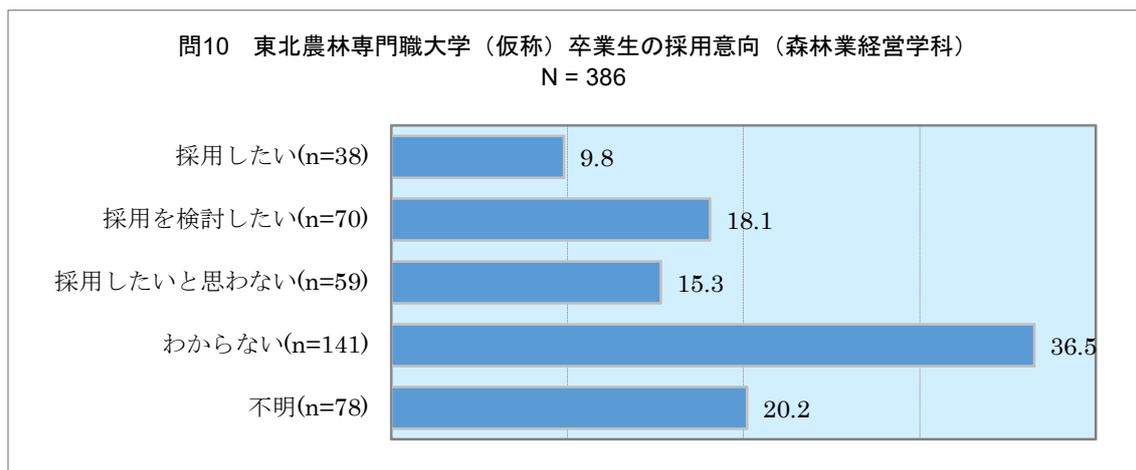
問 10 東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向（農業経営学科） (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	採用したい	86	22.3
2	採用を検討したい	136	35.2
3	採用したいと思わない	25	6.5
4	わからない	104	26.9
	不明	35	9.1
	合計	386	100.0

森林業経営学科

「採用したい」38件(9.8%)、「採用を検討したい」70件(18.1%)、「採用したいと思わない」59件(15.3%)、「わからない」141件(36.5%)となっている。

「採用したい」「採用を検討したい」を合計すると、108件(27.9%)が東北農林専門職大学森林業経営学科(仮称)卒業生の採用に前向きな姿勢を示しているといえる。



問10 東北農林専門職大学(仮称)卒業生の採用意向(森林業経営学科) (SA)

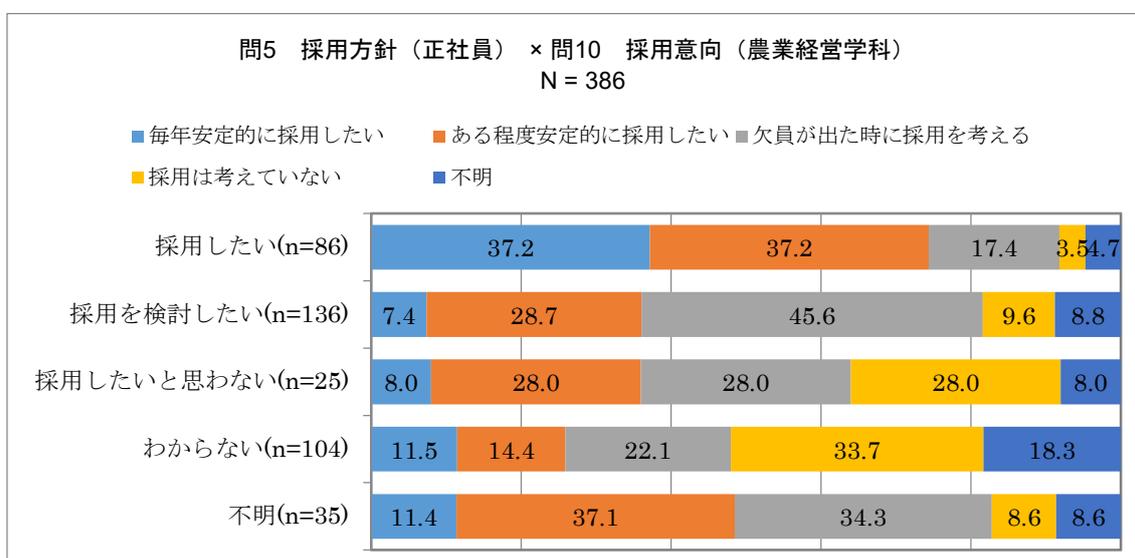
No.	カテゴリ	件数	%
1	採用したい	38	9.8
2	採用を検討したい	70	18.1
3	採用したいと思わない	59	15.3
4	わからない	141	36.5
	不明	78	20.2
	合計	386	100.0

■ クロス集計 問 10 東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向 × 問 5 今後の採用方針：正社員

農業経営学科

問 10 において「採用したい」を選択した回答事業所につき、今後の採用方針ごとに見ると、「毎年安定的に採用したい」32 件（37.2%）、「ある程度安定的に採用したい」32 件（37.2%）となっている。

「採用したい」と回答した事業所の約 75%が安定的な採用方針を採っており、本学科卒業生についても安定的な採用を期待しうる。



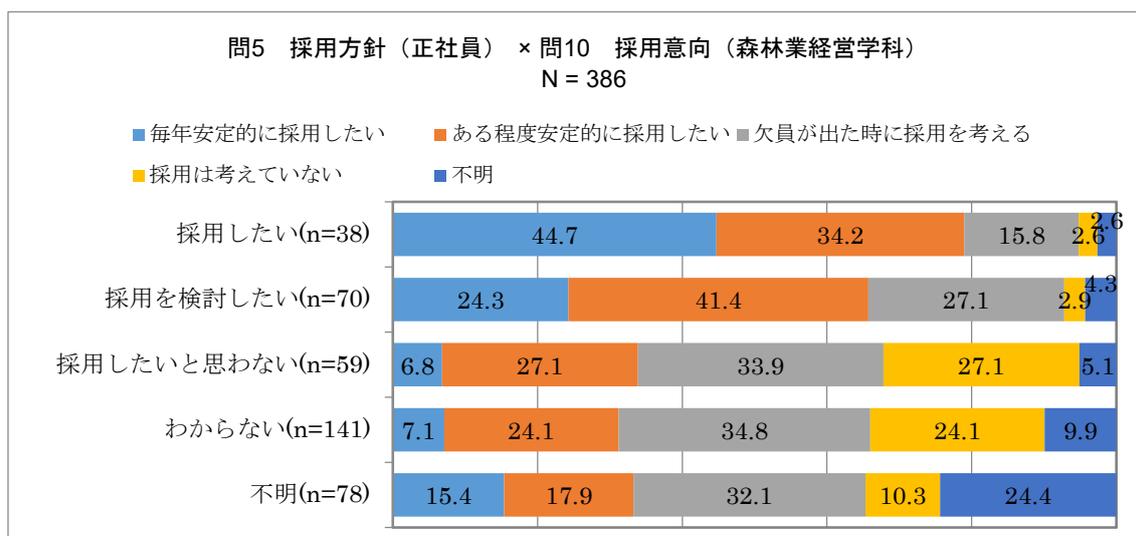
問 5 採用方針（正社員） × 問 10 採用意向（農業経営学科）

上段:度数 下段:%		問 5 採用方針（正社員）					
		合計	毎年安定的に採用したい	ある程度安定的に採用したい	欠員が出た時に採用を考える	採用は考えていない	不明
問 10 採用意向（農業経営学科）	全体	386 100.0	60 15.5	106 27.5	119 30.8	61 15.8	40 10.4
	採用したい	86 100.0	32 37.2	32 37.2	15 17.4	3 3.5	4 4.7
	採用を検討したい	136 100.0	10 7.4	39 28.7	62 45.6	13 9.6	12 8.8
	採用したいと思わない	25 100.0	2 8.0	7 28.0	7 28.0	7 28.0	2 8.0
	わからない	104 100.0	12 11.5	15 14.4	23 22.1	35 33.7	19 18.3
	不明	35 100.0	4 11.4	13 37.1	12 34.3	3 8.6	3 8.6

森林業経営学科

問10において「採用したい」を選択した回答事業所につき、今後の採用方針ごとに見ると、「毎年安定的に採用したい」17件（44.7%）、「ある程度安定的に採用したい」13件（34.2%）となっている。

「採用したい」と回答した事業所の約78%が安定的な採用方針を採っており、本学科卒業生についても安定的な採用を期待しうる。



問5 採用方針（正社員） × 問10 採用意向（森林業経営学科）

上段:度数 下段:%		問5 採用方針（正社員）					
		合計	毎年安定的に採用したい	ある程度安定的に採用したい	欠員が出た時に採用を考える	採用は考えていない	不明
問10 採用意向 (森林業経営学科)	全体	386 100.0	60 15.5	106 27.5	119 30.8	61 15.8	40 10.4
	採用したい	38 100.0	17 44.7	13 34.2	6 15.8	1 2.6	1 2.6
	採用を検討したい	70 100.0	17 24.3	29 41.4	19 27.1	2 2.9	3 4.3
	採用したいと思わない	59 100.0	4 6.8	16 27.1	20 33.9	16 27.1	3 5.1
	わからない	141 100.0	10 7.1	34 24.1	49 34.8	34 24.1	14 9.9
	不明	78 100.0	12 15.4	14 17.9	25 32.1	8 10.3	19 24.4

〈アンケート調査集計表〉

問1 所在地

所在地についてお尋ねします。該当する番号を1つだけ選んで下さい。

問1 所在地

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	山形県内 (村山地域)	137	30.8
2	山形県内 (最上地域)	70	15.7
3	山形県内 (置賜地域)	80	18.0
4	山形県内 (庄内地域)	95	21.3
5	青森県	7	1.6
6	岩手県	24	5.4
7	宮城県	10	2.2
8	秋田県	14	3.1
9	福島県	7	1.6
10	その他	0	0.0
	不明	1	0.2
	合計	445	100.0

問2 主な業種

主な業種についてお尋ねします。次の中から最もあてはまる番号を1つだけ選んで下さい。

問2 主な業種

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	農業	296	66.5
2	林業	40	9.0
3	製造業	27	6.1
4	飲食・宿泊業	1	0.2
5	卸売・小売業	17	3.8
6	金融・保険業	0	0.0
7	農業関係団体 (JA 等)	17	3.8
8	林業関係団体 (林業公社等)	24	5.4
9	その他	20	4.5
	不明	3	0.7
	合計	445	100.0

問3 従業員規模

従業員規模について、正社員及び正社員以外（パート、アルバイト、農業研修生等）ごとに該当する番号を1つだけ選んで下さい。

問3 従業員規模（正社員）

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	1～2名	118	26.5
2	3～5名	99	22.2
3	6～10名	58	13.0
4	11～20名	41	9.2
5	21～30名	13	2.9
6	31名以上	45	10.1
	不明	71	16.0
	合計	445	100.0

問3 従業員規模（正社員以外）

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	1～2名	103	23.1
2	3～5名	111	24.9
3	6～10名	55	12.4
4	11～20名	30	6.7
5	21～30名	17	3.8
6	31名以上	23	5.2
	不明	106	23.8
	合計	445	100.0

問4 令和4年度採用人数

今年度（令和4年4月入社）に採用された人数は何名ですか。正社員及び正社員以外（パート、アルバイト、農業研修生等）ごとに該当する番号を1つだけ選んで下さい。

問4 令和4年度採用人数（正社員） (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	0名	303	68.1
2	1名	51	11.5
3	2名	17	3.8
4	3名	7	1.6
5	4～5名	4	0.9
6	6～10名	8	1.8
7	11～15名	1	0.2
8	16～20名	2	0.4
9	21名以上	0	0.0
	不明	52	11.7
	合計	445	100.0

問4 令和4年度採用人数（正社員以外） (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	0名	236	53.0
2	1名	50	11.2
3	2名	29	6.5
4	3名	22	4.9
5	4～5名	27	6.1
6	6～10名	5	1.1
7	11～15名	7	1.6
8	16～20名	0	0.0
9	21名以上	2	0.4
	不明	67	15.1
	合計	445	100.0

問5 今後の採用方針

今後の採用方針について、正社員及び正社員以外（パート、アルバイト、農業研修生等）ごとに次の中から最もあてはまる番号を1つだけ選んで下さい。

問5 今後の採用方針（正社員）

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	毎年安定的に採用したい	62	13.9
2	ある程度安定的に採用したい	114	25.6
3	欠員が出た時に採用を考える	132	29.7
4	採用は考えていない	87	19.6
	不明	50	11.2
	合計	445	100.0

問5 今後の採用方針（正社員以外）

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	毎年安定的に採用したい	58	13.0
2	ある程度安定的に採用したい	97	21.8
3	欠員が出た時に採用を考える	144	32.4
4	採用は考えていない	82	18.4
	不明	64	14.4
	合計	445	100.0

問6 採用時の重視項目

人材を採用する際に、貴社・貴団体ではどのようなことを重視していますか。該当する番号を3つまで選んで下さい。

問6 採用時の重視項目（複数回答） (MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	農林業に必要な専門的知識・技術があること	99	22.2
2	幅広い知識・教養を備えていること	34	7.6
3	学び続ける探究心をもっていること	151	33.9
4	仕事に対する意欲や熱意をもっていること	346	77.8
5	仕事やその他の場面で柔軟な対応ができること	184	41.3
6	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	215	48.3
7	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	190	42.7
8	業務に役立つ資格・免許を取得していること	56	12.6
9	外国語能力やグローバルな視野をもっていること	8	1.8
10	その他	10	2.2
	不明	7	1.6
	合計	445	100.0

問7 東北農林専門職大学（仮称）への興味

東北農林専門職大学（仮称）について興味がありますか。該当する番号を1つだけ選んで下さい。

問7 東北農林専門書大学（仮称）への興味 (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	興味を感じる	212	47.6
2	少し興味を感じる	174	39.1
3	あまり興味を感じない	44	9.9
4	興味を感じない	13	2.9
	不明	2	0.4
	合計	445	100.0

問8 東北農林専門職大学（仮称）に興味を感じる理由

問7で東北農林専門職大学（仮称）に（少し）興味を感じると回答した理由は何ですか。次の中から特に当てはまるものを2つまで選んで下さい。

（問7で東北農林専門職大学（仮称）に「興味を感じる」「少し興味を感じる」と回答した386件が回答）

問8 東北農林専門職大学（仮称）に興味を感じる理由 (MA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	東北地方の農林業の発展に貢献してくれそうだから	147	38.1
2	農林業現場での即戦力人材を養成してくれそうだから	196	50.8
3	新たな後継者育成の学校になりそうだから	195	50.5
4	社会人の学び直しの点で興味があるから	22	5.7
5	従来の大学や専門学校よりも充実した教育を実施してくれそうだから	97	25.1
6	地域の活性化につながりそうだから	92	23.8
7	その他	3	0.8
	不明	2	0.5
	合計	386	100.0

問9 特色に対する魅力

東北農林専門職大学（仮称）では以下のような人材を養成します。これらの養成する人材像について、どの程度魅力を感じますか。（A）～（D）の特色ごとに、1～4のうち最もあてはまる番号を1つだけ選んで下さい。

（問7で東北農林専門職大学（仮称）に「興味を感じる」「少し興味を感じる」と回答した386件が回答）

問9（A）将来を見通した経営

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	魅力を感じる	229	59.3
2	やや魅力を感じる	136	35.2
3	あまり魅力を感じない	18	4.7
4	全く魅力を感じない	0	0.0
	不明	3	0.8
	合計	386	100.0

問9（B）消費マーケットを見据えた需要・市場開拓

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	魅力を感じる	208	53.9
2	やや魅力を感じる	148	38.3
3	あまり魅力を感じない	28	7.3
4	全く魅力を感じない	0	0.0
	不明	2	0.5
	合計	386	100.0

問9（C）高度で先進的な生産技術の活用

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	魅力を感じる	233	60.4
2	やや魅力を感じる	129	33.4
3	あまり魅力を感じない	19	4.9
4	全く魅力を感じない	1	0.3
	不明	4	1.0
	合計	386	100.0

問9 (D) 幅広い教養を持つ地域のリーダー

(SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	魅力を感じる	226	58.5
2	やや魅力を感じる	131	33.9
3	あまり魅力を感じない	23	6.0
4	全く魅力を感じない	3	0.8
	不明	3	0.8
	合計	386	100.0

問10 東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向

東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向についてお尋ねします。開設する学科ごとに、次の中から最もあてはまる番号を1つだけ選んで下さい。回答後は問12にお進み下さい。

(問7で東北農林専門職大学（仮称）に「興味を感じる」「少し興味を感じる」と回答した386件が回答)

問10 東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向（農業経営学科） (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	採用したい	86	22.3
2	採用を検討したい	136	35.2
3	採用したいと思わない	25	6.5
4	わからない	104	26.9
	不明	35	9.1
	合計	386	100.0

問10 東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向（森林業経営学科） (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	採用したい	38	9.8
2	採用を検討したい	70	18.1
3	採用したいと思わない	59	15.3
4	わからない	141	36.5
	不明	78	20.2
	合計	386	100.0

問 11 東北農林専門職大学（仮称）に興味を感じない理由

問 7 で東北農林専門職大学（仮称）に（あまり）興味を感じないと回答した理由は
何ですか。該当する番号を 1 つだけ 選んで下さい。

（問 7 で東北農林専門職大学（仮称）に「あまり興味を感じない」「興味を感じない」と回答した 57
件が回答）

問 11 東北農林専門職大学（仮称）に興味を感じない理由 (SA)

No.	カテゴリ	件数	%
1	専門職大学に関する情報が少ないから	9	15.8
2	大学・短期大学・専門学校との違いがわからないから	7	12.3
3	従来 of 大学・短期大学・大学校・専門学校等の制度で十分であるから	6	10.5
4	4 年間修学するよりも早く現場で実践を積んでほしいから	18	31.6
5	その他	12	21.1
	不明	5	8.8
	合計	57	100.0

問10 クロス集計 東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向 × 問2 業種

問2 業種 × 問10 採用意向（農業経営学科）

上段:度数		問2 業種										
		合計	農業	林業	製造業	飲食・宿泊業	卸売・小売業	金融・保険業	農業関係団体（JA等）	林業関係団体（林業公社等）	その他	不明
下段:%												
問10 採用意向 (農業経営学科)	全体	386 100.0	256 66.3	35 9.1	24 6.2	1 0.3	14 3.6	- -	17 4.4	21 5.4	16 4.1	2 0.5
	採用したい	86 100.0	67 77.9	3 3.5	3 3.5	- -	3 3.5	- -	9 10.5	1 1.2	- -	- -
	採用を検討したい	136 100.0	118 86.8	2 1.5	2 1.5	1 0.7	- -	- -	6 4.4	1 0.7	4 2.9	2 1.5
	採用したいと思わない	25 100.0	7 28.0	6 24.0	6 24.0	- -	1 4.0	- -	- -	5 20.0	- -	- -
	わからない	104 100.0	63 60.6	8 7.7	7 6.7	- -	9 8.7	- -	2 1.9	8 7.7	7 6.7	- -
	不明	35 100.0	1 2.9	16 45.7	6 17.1	- -	1 2.9	- -	- -	6 17.1	5 14.3	- -

問2 業種 × 問10 採用意向（森林業経営学科）

上段:度数		問2 業種										
		合計	農業	林業	製造業	飲食・宿泊業	卸売・小売業	金融・保険業	農業関係団体（JA等）	林業関係団体（林業公社等）	その他	不明
下段:%												
問10 採用意向 (森林業経営学科)	全体	386 100.0	256 66.3	35 9.1	24 6.2	1 0.3	14 3.6	- -	17 4.4	21 5.4	16 4.1	2 0.5
	採用したい	38 100.0	5 13.2	16 42.1	6 15.8	- -	- -	- -	2 5.3	6 15.8	3 7.9	- -
	採用を検討したい	70 100.0	26 37.1	13 18.6	11 15.7	1 1.4	2 2.9	- -	4 5.7	8 11.4	5 7.1	- -
	採用したいと思わない	59 100.0	49 83.1	1 1.7	1 1.7	- -	1 1.7	- -	4 6.8	2 3.4	1 1.7	- -
	わからない	141 100.0	106 75.2	4 2.8	6 4.3	- -	7 5.0	- -	7 5.0	4 2.8	6 4.3	1 0.7
	不明	78 100.0	70 89.7	1 1.3	- -	- -	4 5.1	- -	- -	1 1.3	1 1.3	1 1.3

問10 クロス集計 東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向 × 問7 東北農林専門職大学（仮称）への興味

問7 興味 × 問10 採用意向（農業経営学科）

上段:度数 下段:%		問7 興味		
		合計	興味を感じる	少し興味を感じる
問10 採用意向（農業経営学科）	全体	386 100.0	212 54.9	174 45.1
	採用したい	86 100.0	75 87.2	11 12.8
	採用を検討したい	136 100.0	68 50.0	68 50.0
	採用したいと思わない	25 100.0	9 36.0	16 64.0
	わからない	104 100.0	37 35.6	67 64.4
	不明	35 100.0	23 65.7	12 34.3

問7 興味 × 問10 採用意向（森林業経営学科）

上段:度数 下段:%		問7 興味		
		合計	興味を感じる	少し興味を感じる
問10 採用意向（森林業経営学科）	全体	386 100.0	212 54.9	174 45.1
	採用したい	38 100.0	33 86.8	5 13.2
	採用を検討したい	70 100.0	41 58.6	29 41.4
	採用したいと思わない	59 100.0	28 47.5	31 52.5
	わからない	141 100.0	63 44.7	78 55.3
	不明	78 100.0	47 60.3	31 39.7

<アンケート調査票>

東北農林専門職大学(仮称)設置に関するアンケート調査

山形県では、東北農林専門職大学(仮称)の令和6年4月開学に向けて、設置の準備を進めています。このアンケート調査は、貴社・貴団体の人材採用意向等についてお聞きし、専門職大学の開学に向けた資料とするものです。このアンケートで得られた結果は、回答者が分からないように統計的に処理した上で、資料として使用します。ご協力をお願いいたします。

同封のリーフレットをご覧ください、回答は設問の順に当てはまる番号等を【回答欄】の□の中に直接記入してください。

【貴社・貴団体についてお答えください。】

問1 所在地についてお尋ねします。該当する番号を1つだけ選んで下さい。

【回答欄】

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 山形県内(村山地域) | 6 岩手県 |
| 2 山形県内(最上地域) | 7 宮城県 |
| 3 山形県内(置賜地域) | 8 秋田県 |
| 4 山形県内(庄内地域) | 9 福島県 |
| 5 青森県 | 10 その他(具体的に) |

問2 主な業種についてお尋ねします。次の中から最もあてはまる番号を1つだけ選んで下さい。

- | | | |
|-------|----------|-----------------|
| 1 農業 | 4 飲食・宿泊業 | 7 農業関係団体(JA等) |
| 2 林業 | 5 卸売・小売業 | 8 林業関係団体(林業公社等) |
| 3 製造業 | 6 金融・保険業 | 9 その他(具体的に) |

問3 従業員規模について、正社員及び正社員以外(パート、アルバイト、農業研修生等)ごとに該当する番号を1つだけ選んで下さい。

- | | |
|---------|----------|
| 1 1～2名 | 4 11～20名 |
| 2 3～5名 | 5 21～30名 |
| 3 6～10名 | 6 31名以上 |

【正社員】

【正社員以外】

問4 今年度(令和4年4月入社)に採用された人数は何名ですか。正社員及び正社員以外(パート、アルバイト、農業研修生等)ごとに該当する番号を1つだけ選んで下さい。

- | | | |
|------|---------|----------|
| 1 0名 | 4 3名 | 7 11～15名 |
| 2 1名 | 5 4～5名 | 8 16～20名 |
| 3 2名 | 6 6～10名 | 9 21名以上 |

【正社員】

【正社員以外】

問5 今後の採用方針について、正社員及び正社員以外(パート、アルバイト、農業研修生等)ごとに次の中から最もあてはまる番号を1つだけ選んで下さい。

- 1 毎年安定的に採用したい
- 2 ある程度安定的に採用したい
- 3 欠員が出た時に採用を考える
- 4 採用は考えていない

【正社員】

【正社員以外】

【次頁へ続く】

問6 人材を採用する際に、貴社・貴団体ではどのようなことを重視していますか。該当する番号を3つまで選んで下さい。

- 1 農林業に必要な専門的知識・技術があること
- 2 幅広い知識・教養を備えていること
- 3 学び続ける探究心をもっていること
- 4 仕事に対する意欲や熱意をもっていること
- 5 仕事やその他の場面で柔軟な対応ができること
- 6 円滑なコミュニケーション能力を備えていること
- 7 礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること
- 8 業務に役立つ資格・免許を取得していること
- 9 外国語能力やグローバルな視野をもっていること
- 10 その他（具体的に:

【回答欄】

【東北農林専門職大学（仮称）についてお聞きします。同封のリーフレットをご覧ください。】

※ 専門職大学とは、特定の職業のプロフェッショナルになるために必要な知識・理論、そして実践的なスキルの両方を身に付けることができる、従来の大学に実践的な教育と他分野の教育を取り入れたハイブリッドな大学です。カリキュラムは、講義だけでなく、学内外で行われる豊富な実習が特徴となっており、理論と実践をバランス良く学べる内容となっています。

問7 東北農林専門職大学（仮称）について興味がありますか。該当する番号を1つだけ選んで下さい。

- | | | | |
|--------------|---|-------------------------------|--|
| 1 興味を感じる | } | 1 または 2 を選択された方は問 8 にお進み下さい。 | |
| 2 少し興味を感じる | | | |
| 3 あまり興味を感じない | } | 3 または 4 を選択された方は問 11 にお進み下さい。 | |
| 4 興味を感じない | | | |

問8 問7で東北農林専門職大学（仮称）に（少し）興味を感じると回答した理由は何ですか。次の中から特に当てはまるものを2つまで選んで下さい。

- 1 東北地方の農林業の発展に貢献してくれそうだから
- 2 農林業現場での即戦力人材を養成してくれそうだから
- 3 新たな後継者育成の学校になりそうだから
- 4 社会人の学び直しの点で興味があるから
- 5 従来の大学や専門学校よりも充実した教育を実施してくれそうだから
- 6 地域の活性化につながりそうだから
- 7 その他（具体的に

【次頁へ続く】

問9 東北農林専門職大学（仮称）では以下のような人材を養成します。これらの養成する人材像について、どの程度魅力を感じますか。（A）～（D）の特色ごとに、1～4のうち最もあてはまる番号を1つだけ選んで下さい。

養成する人材像	1. 魅力を感じる	2. やや魅力を感じる	3. あまり魅力を感じない	4. 全く魅力を感じない	【回答欄】
(A) 将来を見通した経営 理論に裏付けられた生産技術はもとより、マーケティングや政策などの知見を持ち、自己の経営を客観的に分析し、時代の変化に対応した経営戦略を構築できる人材を育成する。	1	2	3	4	<input type="text" value="A"/>
(B) 消費マーケットを見据えた需要・市場開拓 作るだけでなく流通・販売までの幅広い知見及び国内外への広い視野を持ち、国内外の市場動向を分析して、最前線の需要をつかみ、創り出すことで、積極的に販路を開拓することができる人材を育成する。	1	2	3	4	<input type="text" value="B"/>
(C) 高度で先進的な生産技術の活用 理論と現場での実践に基づき、世の中の変化に対応した先端的な生産技術を取り入れながら、生産性・収益性の高い農林業を実践できる人材を育成する。	1	2	3	4	<input type="text" value="C"/>
(D) 幅広い教養を持つ地域のリーダー 専門分野にとらわれない幅広い教養、柔軟な発想・応用力に加え未来を見通す力などを身に付け、地域をけん引できる人材を育成する。	1	2	3	4	<input type="text" value="D"/>

問10 東北農林専門職大学（仮称）卒業生の採用意向についてお尋ねします。開設する学科ごとに、次の中から最もあてはまる番号を1つだけ選んで下さい。回答後は問12にお進み下さい。

- 1 採用したい
- 2 採用を検討したい
- 3 採用したいと思わない
- 4 わからない

【農業経営学科】 【森林業経営学科】

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

【次頁へ続く】

問11 問7で東北農林専門職大学（仮称）に（あまり）興味を感じないと回答した理由は何ですか。該当する番号を1つだけ選んで下さい。

- 1 専門職大学に関する情報が少ないから
- 2 大学・短期大学・専門学校との違いがわからないから
- 3 従来の大学・短期大学・大学校・専門学校等の制度で十分であるから
- 4 4年間修学するよりも早く現場で実践を積んでほしいから
- 5 その他（具体的に

【回答欄】

問12 東北農林専門職大学（仮称）について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせ下さい。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

東北農林専門職大学（仮称）

【令和6年4月開学に向け、設置構想中！】

農林業経営学部（仮称）

◆ 農業経営学科（仮称）（入学定員32名）

◆ 森林業経営学科（仮称）（入学定員8名）



※設置計画は予定であり、内容が変更となる場合があります。

東北農林専門職大学(仮称)は、「現場感覚・高度な経営感覚」を軸として、
新たな経営戦略を構築・実践・検証し、更なる展開を目指す。

基本理念

【現場感覚・高度な経営感覚】

現場の先進的な経営や高度な技術を生きた教材としながら、経営感覚と現場感覚に優れ、理論に裏打ちされた実践力を備えた人材を育成します。

【進取果敢】

時代の変化を新たな成長へのチャンスととらえ、戦略的な経営に取り組める農林業人材を育成します。

【東北創生】

農林業を核とした関連産業の振興や価値の創出に資する人材育成及び研究開発を担い、「東北創生」の拠点を目指します。

学びのキーワードと主な授業科目

① 「将来を見通した経営」

経営分析・計画演習、SDGsと農業・森林業、農業（森林環境）政策 等

② 「消費マーケットを見据えた需要・市場開拓」

マーケティング論、国際農業(森林業)論、デザイン論、発酵学・醸造学、山形・東北観光学 等

③ 「高度で先進的な生産技術」

先端農業(森林業)技術論、栽培各論、森林情報学、圃場実習、演習林実習 等

④ 「幅広い教養を持つ地域のリーダー」

農山村活性化論、コミュニケーション論、哲学と東北 等

経営感覚」、「進取果敢」、「東北創生」を基本理念として、
へつなげることができる農林業経営者を育成します。

実践的スキルを身に付ける「臨地実務実習」

【臨地実務実習とは？】

大学キャンパスでなく農林業法人や企業内で長期間実習を行い、
実践的なスキルを身に付ける専門職大学の特徴的なプログラムです。

【特徴】

- ・山形県の全市町村に加え、東北各県に実習先を確保しています。
- ・山形県の特徴的な農産物はもちろん、多様な品目や、複合経営等の多様な経営形態の実習先を選択可能です。



【例えば、こんなところで学べます】

- ・観光さくらんぼ園と6次産業化に取り組む農業法人
- ・デジタル技術を活用した大規模稲作経営体
- ・先進地のヨーロッパ同等の高性能林業機械を駆使する森林組合
- ・大手ハウスメーカー等と取引のある東日本最大級の製材工場

取得可能な資格 農林業に必要な多くの資格が取得できます！

【農業経営学科】

- ・小型車両系建設機械(整地、積込み、運搬)特別教育
- ・食の6次産業化プロデューサー(レベル3)
- ・大型特殊自動車免許(農耕用) 等

【森林業経営学科】

- ・高性能林業機械特別教育
- ・森林情報士2級(森林GIS) 等



納入金

検定料	入学金	授業料(年額)
17,000円	県内者 282,000円 県外者 564,000円	535,800円

※この他に、実習実験費等の納付を別途求めることがあります。
具体的内容及び金額については今後検討します。

卒業後の進路例

就農・就業等に向け、専門職大学と関係機関等が連携して強力にサポート！
想定される進路は以下のとおりです。

- ・ 農業：独立就農、農業法人、農業関連団体 等
- ・ 林業：森林組合、素材生産事業体、製材・木材加工事業体、
森林業関連団体・企業、官公庁 等

アクセス

【電車】

J R新庄駅下車
↓
タクシー15分程度

【山交バス】

県立病院～鳥越線
「農大入口前」下車、
徒歩20分程度

【車】

尾花沢新庄道路「舟形
IC」を降りて国道13
号線へ。山交バス「農
大入口前」を西に約
1.4km



山形県産木材を内装に多く活用した温かみのある明るい新しい校舎で学べます。

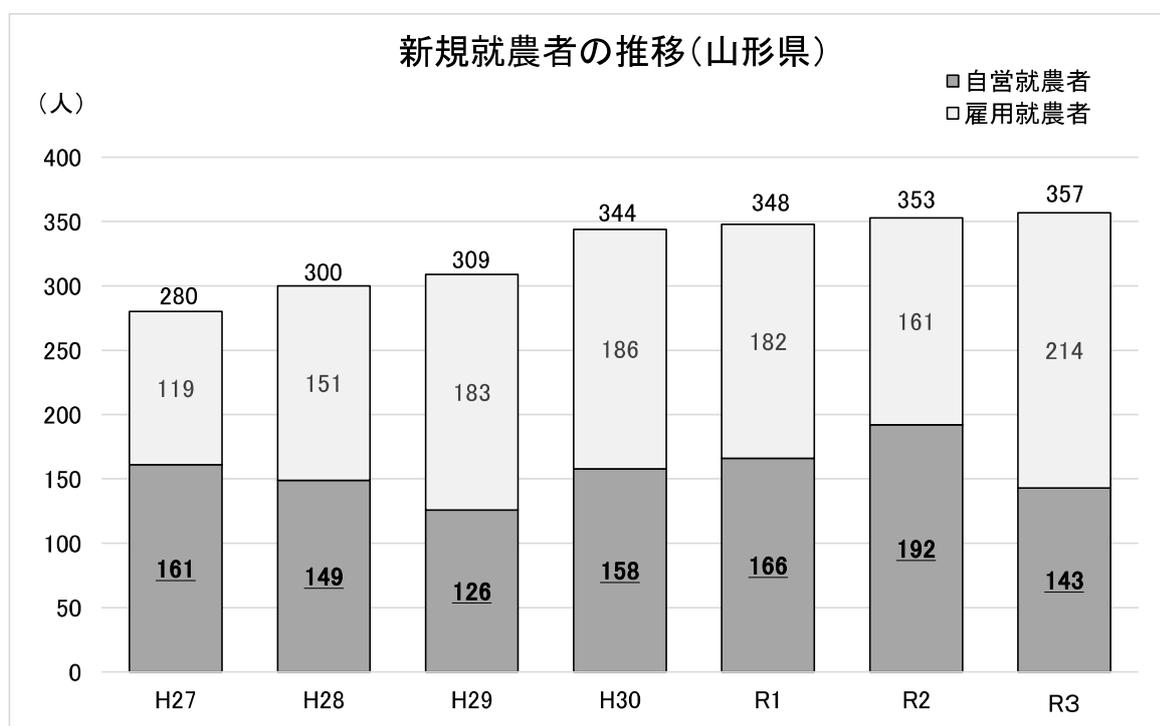
【問合せ先】

山形県農林水産部専門職大学整備推進課
〒990-8570 山形県山形市松波2-8-1
TEL 023-630-2480 / FAX 023-630-2558
e-mail taf-u@pref.yamagata.jp
HP <https://ynodai.ac.jp/university/>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

新規就農者の状況(山形県)



出典：山形県農業経営・所得向上推進課

各年5月末までの1年間の新規就農者で65歳未満の者

- ①自営就農者…自ら農業を開始した者及び家族の農業経営に参画し就農した者
- ②雇用就農者…農業法人等に雇用されて就農した者